

Ⅲ 資料

○心身ともに健康でたくましく生きる児童生徒

高等部	①自己の能力や適性を分析して理解し、それを受け入れて、自分の良さなどを伸ばすことができる。	②できないと思うことでもできる方法を模索したり、周囲の人に相談したりして取り組むことができる。	③身近な問題に目を向け、探求心や目的を持って学習に取り組むことができる。	④自分の障害や病気を理解し、障害や病気の進行を予防する方法を理解し、実践することができる。	⑤自分の健康状態や障害の状態、体力に依りて運動量を調節し、体力の維持や向上に継続的に取り組むことができる。	⑥望ましい生活をめざし、健康管理に努めたり、生活を改善したりすることができる。
中学部	⑦自分の得意なことや不得意なことを理解することができる。	⑧失敗経験から学んだり、周囲の人に教えてもらったりして取り組むことができる。	⑨見通しや予想を持って進んで学習に取り組むことができる。	⑩自分の障害や病気を理解し、健康・安全に留意した生活や不調時の対応を考えることができる。	⑪自分の健康状態や体力に合わせて、適度な運動に取り組むことができる。	⑫基本的な生活習慣を身に付けるとともに、病気の予防を行うことができる。
小学部	⑬自分の好きなことや得意なこと、苦手なことに気付くことができる。	⑭苦手なことや難しいことにも繰り返し取り組むことができる。	⑮知りたいことや分からないことを進んで調べることができる。	⑯自分の身体のことに関心を持ち、健康で丈夫な身体をつくる方法を学ぶことができる。	⑰身体を動かすことを楽しんだり、運動に親しんだりすることができる。	⑱早寝早起き、偏りのない食事、手洗いやうがい、歯磨き、入浴など、基本的な生活習慣を身に付けることができる。
身に付けさせたい力	自分を知る	あきらめずに取り組む	学習への意欲をもつ	健康や障害について理解する	体力の維持や向上を図る	望ましい生活習慣を身に付ける
大項目	たくましく生きる心			たくましく生きる身体		

○心豊かで思いやりのある児童生徒

高等部	⑲芸術や文化についての理解を深め、芸術的、文化的活動に進んで取り組んだり、生活に生かしたりすることができる。	⑳自然や社会の現象について幅広く情報収集を行い、広い視野に立って物事を考えたり、知識や経験を生活に生かしたりすることができる。	㉑自分のできることや課題、働くことの意義を見いだして取り組んだり、任された仕事は責任を持ってやり遂げたりすることができる。	㉒自他の違いを認め、自分を取り巻く人々を大切に思っ接し、互いに支え合い、分かり合える仲間づくりに励んだり、集団の一員として活躍したりすることができる。	
中学部	㉓表現や鑑賞に親しみ、芸術や文化のよさ、美しさを感じ取ったり味わったりすることができる。	㉔自然や社会の現象について進んで学習し、知識や経験を増やしたり、自分のものの見方や考え方を広げたりすることができる。	㉕学校生活や家庭生活において、自分の役割を果たしたり、互いに協力しながら物事に取り組んだりすることができる。	㉖他人の意見を尊重したり、周囲の人を気遣ったりして、自分の悩みをお互いに話し合える友達を持つことができる。	
小学部	㉗表現や鑑賞を楽しむ、自分の思いや感じたことを表現したり、つくりだす喜びを味わったりすることができる。	㉘自然や社会の出来事や様子について興味や関心をもって聞き、自分の知りたいことを得たり、体験したりすることができる。	㉙係の仕事や手伝いを一生懸命に取り組む、自分で決めたことは最後までやり通すことができる。	㉚相手の気持ちを考えて友達を大切にしたり、進んで集団の中に入って人と関わったりすることができる。	
身に付けさせたい力	芸術や文化への関心をもつ	自然や社会への関心をもつ	奉仕の心や責任感をもつ	自他の違いを知り、よりよい人間関係をつくる	
大項目	心豊かに生きる		思いやりのある関わり		

○夢や願いに向けて挑戦する児童生徒

高等部	③①周囲の人に自分から働き掛けて必要な話や依頼をしたり、問題について話し合っ解決したりすることができる。	③②目的や意図に応じ、伝えたい事柄や意見などが相手に分かりやすく伝わるように、具体例などを加えながら説明することができる。	③③社会の制度や障害者を支援する各種サービスの利用方法を理解し、実生活で活用することができる。	③④報告、連絡、相談や TPO に合わせた振る舞いができる。	③⑤職業・就労・進学に関する理解や認識を深め、自己の価値観や職業観・勤労観を持ち、将来設計や進路希望の実現に向けて取り組むことができる。
中学部	③⑥話題や話の流れに応じて話すことや、人の考えを受容したり自分の考えを修正したりしながら話すことができる。	③⑦目的や意図に応じ、自分の考えをまとめ、根拠を明確にして書いたり話したりすることができる。	③⑧学校生活のきまりや地域社会のルールを理解し、生活に生かすことができる。	③⑨目上の人に対して、敬語の使用や立場を踏まえた接し方ができる。	③⑩体験を通して、様々な職業があることを知り、自分の将来や進路について描き、自分の努力目標を考えることができる。
小学部	④①相手の気持ちや話の内容をとらえながら聞いたり、考えや伝えたいことをまとめて自分の言葉で話したりすることができる。	④②相手や目的に応じ、調べたことや自分の考えが伝わるように、書いたり話したりすることができる。	④③身近なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動することができる。	④④返事や挨拶、ていねいな言葉遣いができる。	④⑤自分が将来就きたい職業や夢について考えることができる。
身に付けさせたい力	コミュニケーション	言葉で表現する	生活を営む	態度・言葉遣い	進路を選択する
大項目	自己表現力		環境への適応		

マトリクス2

○心身ともに健康でたくましく生きる児童生徒

高等部	①身の回りのことをある程度自分で決め、反省を行動の変容につなげ、見通しを持って主体的に行動することができる。	②日課に沿って行動ができ、急な予定の変更にも落ち着いた心で対処ができる。	③体調不良時には周囲にいる人に伝え、体調不良時の対処の仕方について知ることができる。	④安全に生活したり、学習したりするために危険を回避し、安全な環境をつくることができる。	⑤自分に必要な運動に主体的に取り組み身体の状態を維持しようとすることができる。	⑥規則正しい生活・自律的な生活を送ることができる。
中学部	⑦自分の得意、不得意が分かり、反省したことを工夫して行動することができる。	⑧日課に沿って行動ができ、事前の連絡があれば急な予定の変更にも落ち着いて対処ができる。	⑨体調不良時には教師に伝えたり、病気になってしまった原因を考えたりすることができる。	⑩危険な場所や危険な行動が分かり、判断することができる。	⑪自分に必要な運動を理解し、体を動かす習慣を身に付け運動することができる。	⑫基本的な生活習慣を自ら実行したり、周りの人に依頼したりすることができる。
小学部	⑬教師と一緒に失敗などの自分の行動を振り返り、目標をもって活動に取り組むことができる。	⑭教師と一緒に日課に沿って行動でき、急な予定の変更にも落ち着いて対処することができる。	⑮体調が悪い時は教師に伝え休養をとったり、病気にならないように予防の仕方を知ったりすることができる。	⑯生活の中で、危険な場所や危険な行動が分かる。	⑰教師の援助によって自分に必要な運動を理解しながら体を動かすことができる。	⑱睡眠・食事・排泄等を教師や保護者の援助を受けながら実行することができる。
身に付けさせたい力	自己を振り返って行動する	状況の変化に対し落ち着いて行動する	自分の心身の状態を理解し対応する	状況を判断して危険を回避する	体を動かす習慣を身に付ける	基本的な生活習慣を身に付ける
大項目	たくましく生きる心			たくましく生きる身体		

○心豊かで思いやりのある児童生徒

高等部	⑱自分の好きなことや興味のあること、趣味をもち、それらで楽しむことができる。	⑳自然や社会について広く学んで考えたり、芸術を楽しんで様々な感想をもったりすることができる。	㉑様々な人との関わりの中で、自分の意見を主張するだけでなく、相手の意見を尊重し、場の状況に合わせた行動をとることができる。	㉒友だち以外の人でも周囲の状況を見て、自分から声をかけたり、手助けをしたりすることができる。
中学部	㉓様々な活動を行う中で、自分の好きなことや楽しめることを見つけ、自覚することができる。	㉔自然や社会について考えたり、芸術を自分なりに楽しんだりすることができる。	㉕学校などの場での人との関わりの中で、相手の表情などから気持ちを理解し、その気持ちに共感することができる。	㉖困ったり、悩んだりしている友だちの状況を見て「どうしたの？」などと声をかけたり、手助けをしたりすることができる。
小学部	㉗教師と一緒に様々な活動に参加して、それらを受け入れて楽しむことができる。	㉘身近な自然や社会の出来事に気づいたり、芸術に親しんだりすることができる。	㉙家族以外の身近な存在である友人や教師に関心をもち、その人たちの表情などを見て、感情を理解することができる。	㉚友だちが泣いている時などにその変化に気づき、心配したり、教師に教えたりすることができる。
身に付けさせたい力	自分の好きなことややりたいことを楽しむ	自然・社会について考えたり楽しんだりする	相手の気持ちを理解して関わる	相手の様子から体調や心情の変化に気づき、働きかける
大項目	心豊かに生きる		思いやりのある関わり	

○夢や願いに向けて挑戦する児童生徒

高等部	③① 要求、依頼、悩み、感情等を自ら適切に伝え、解決しようとするができる。	③② 芸術や文化を楽しんだり、進んで取り組み生かしたりすることができる。	③③ 人や場面など状況に応じた挨拶や返事ができる。	③④ 集団活動を通して、自分の役割を判断し、集団の一員としてその役割を果たすことができる。	③⑤ 新しい場所や初めて会う人の前でも、自分の役割を判断し、行動することができる。	③⑥ 社会の慣習や生活に関係の深い福祉的な制度やサービスを知り、周囲のサポートを受けながら生活に生かすことができる。	③⑦ これまでの経験や体験的な学習、周囲の人の助言から、現実を視野に入れ、卒業後の生活や進路を決定することができる。
中学部	③⑧ 困ったこと、手伝ってほしいこと自分の気持ちや悩みなどを近くにいる人を見つけて伝えることができる。	③⑨ 芸術や文化に親しみ、それらを取り入れて自分なりに表現することができる。	④⑩ 初めて会う人や年上の人など誰とでも挨拶ができる。	④⑪ 集団活動を通して、その状況から自分の役割を何となく理解できる。	④⑫ 新しい場所や初めて会う人の前でも落ち着いて行動できる。	④⑬ 社会のしくみやきまりが分かり、生活に関係の深いことについて経験の幅を広げることができる。	④⑭ 体験的な学習や様々な経験を通して、様々な職業があることに興味をもち、将来なりたい職業について考えることができる。
小学部	④⑮ 困ったことや手伝ってほしいこと、喜びや悲しみなどの自分の気持ちを近くにいる人に伝えることができる。	④⑯ 芸術や文化に興味を持ち、自分なりに関わることができる。	④⑰ 友達や教師に自分から挨拶ができる。	④⑱ 集団活動を通して、友達や教師といった他者との関わりを楽しむことができる。	④⑲ 新しい場所や初めて会う人の前でもその場の雰囲気を受け入れることができる。	⑤⑰ 生活の中の簡単なマナーやきまりが分かったり、大人と一緒に利用したりすることができる。	⑤⑱ 様々な学習や生活上の体験から、いろいろな仕事があることを知り、興味をもつことができる。
身に付けさせたい力	要求や依頼、悩み、感情などを伝える	芸術・文化的な事柄で自分を表現する	状況に応じて挨拶や返事をする	集団の中で人と関わり役割を遂行する	社会のしくみやきまりを理解する	社会や仕事に関心をもち、考え行動する	
大項目	自己表現力			環境への適応			

マトリクス3

○心身ともに健康でたくましく生きる児童生徒

高等部	①いろいろな物事に積極的に取り組み、決められたことを自ら行うことができる。	②安定した気持ちで学習活動に参加し、場に合った行動をとることができる。	③声や身振り、言葉など、分かりやすい方法で体調不良を周囲の人に伝えることができる。	④危険なものや場面を察知し、安全に行動することができる。	⑤教師の師範を参考に、自分の意思で身体を動かすことができる。	⑥身の周りのことを、手順に沿って自分で行うことができる。
中学部	⑦学習の中で興味・関心の幅を拡げ、集中して最後まで取り組むことができる。	⑧教師の少ない支援で、様々な学習の場面や集団の中でも落ち着いて活動することができる。	⑨体調が悪いことを自覚し、自分でできる方法で教師に訴えることができる。	⑩教師の声かけを受けて、自分で危険を回避し、安全な道具の使い方に慣れる。	⑪決まった手順に沿って、教師の声かけや手本があれば自分で身体を動かすことができる。	⑫教師の声かけで身の周りのことを自分でしたり、必要な時に支援を求めたりすることができる。
小学部	⑬好きなものや活動を見つけて、生き生きと取り組むことができる。	⑭身近な教師や友達と一緒に、学習に落ち着いて参加することができる。	⑮泣いたり簡単な身振りをしたりして、不快な様子を身近な教師に伝えることができる。	⑯ごく身近なものや場面での危険が分かり、一人でまたは教師と一緒に回避することができる。	⑰興味のある活動を通して、教師と一緒に身体を動かすことができる。	⑱教師の援助を受けながら、身の周りのことを自分ですることができる。
身に付けさせたい力	すすんで取り組む	落ち着いて活動する	心身の不調をサインや声などで伝える	安全に行動する	自分の意思で身体を動かし、体力をつける	身の回りのことを自分で行う
大項目	たくましく生きる心			たくましく生きる身体		

○心豊かで思いやりのある児童生徒

高等部	⑲自ら好きな活動を選択し、一定時間、続けて楽しむことができる。	⑳自然や社会など知的な事柄を自分から学んだり、芸術を楽しんだりすることができる。	㉑誰からの働きかけも受け入れることができる。	㉒相手の思いを感じとり、行動をコントロールすることができる。
中学部	㉓さらに多くの経験から、好きなことを増やし、やりたいことを選ぶことができる。	㉔自然や社会など知的な事柄を深く学んだり、芸術を味わったりすることができる。	㉕グループの友だちや先生の働きかけを受け入れることができる。	㉖関わりの中で、相手の反応の変化に気づくことができる。
小学部	㉗いろいろな活動を経験し、好きなことを見つけ楽しむことができる。	㉘自然や社会など知的な事柄を広く知ったり、芸術に関心を持ったりすることができる。	㉙身近な大人の働きかけを受け入れることができる。	㉚他者に目を向け、関わろうとすることができる。
身に付けさせたい力	自分の好きなことや興味のあることを見つける	自然・社会に関心をもつ	相手の働きかけを受け止める	相手の気持ちや場の雰囲気を感じとる
大項目	心豊かに生きる		思いやりのある関わり	

○夢や願いに向けて挑戦する児童生徒

高等部	③①サインや身振り、発声、VOCAなど伝える手段を増やすことにより、自分の意思をいろいろな人に伝えることができる。	③②多くの芸術や文化的な事柄に関心をもち、感じたことを自分なりに表現することができる。	③③いろいろな人と関わることができる。	③④手順やマナーを意識して活動に参加することができる。	③⑤相手が伝えようとしていることや周囲の状況を理解し、周りの人の気持ちを感じ取ることができる。
中学部	③⑥サイン、声、動作などで気持ちや要求を伝えることができる。	③⑦身近な芸術や文化に関心をもち、自分なりに表現することができる。	③⑧自分から身近な人と関わることができる。	③⑨一日の大まかな見通しをもって生活することができる。	③⑩周囲の状況を理解して行動したり、教師の指示に従ったりすることができる。
小学部	④①身振りやサイン、カードなどで自分の要求を伝えることができる。	④②自分の周りの芸術や文化に関心をもちることができる。	④③教師を介しながら友達と関わることができる。	④④簡単な事柄の見通しをもって行動することができる。	④⑤周囲の状況に目を向けたり、簡単な指示を理解したりすることができる。
身に付けさせたい力	自分の意思や要求を伝える	芸術・文化的なことに関心をもち	人と関わる	活動の見通しをもつ	周りの人や環境を理解し行動する
大項目	自己表現力		環境への適応		

マトリクス4

○心身ともに健康でたくましく生きる児童生徒

高等部	①日常生活の中で自発的な要求を出し、人と関わる楽しさを感じとり、充実した生活を過ごすことができる。	②生活リズム（睡眠、食事、排泄）を確立し、学校生活を楽しく過ごし、周りに関心を示して学習に参加することができる。	③日常生活に必要な基本動作や姿勢を身に付け、主体的な動きを出すことができる。
中学部	④日常生活の中で快の表情を多く出しながら自分の要求を伝え、心地よい生活を送ることができる	⑤生活リズム（睡眠、食事、排泄）を身に付け、学校生活の中で楽しい時間を増やし、学習に参加することができる。	⑥日常生活に必要な基本動作や姿勢に慣れ、いくつかの主体的な動きを出すことができる。
小学部	⑦日常生活の中で働きかけに応じ、快・不快の表情を出すことができる。	⑧生活リズム（睡眠、食事、排泄など）を整え、元気に登校することができる。	⑨日常生活に必要な基本動作や姿勢を知り、受け入れることができる。
身に付けさせたい力	人や物とかがわる	生活リズムを整える	自分に合った動作や姿勢をとる
大項目	たくましく生きる心	たくましく生きる身体	

○心豊かで思いやりのある児童生徒

高等部	⑩自分の気持ちを相手に伝え、周囲の働きかけにより気持ちをコントロールすることができる。	⑪興味の対象を認識し、自ら楽しむことができる。	⑫たくさんの人を意識し、自発的に関わるができる。
中学部	⑬自分の気持ちを相手に伝えることができる。	⑭興味の対象をさらに増やすことができる。	⑮様々な活動を通して人を意識し、表情や発声、身振りなどで働きかけることができる。
小学部	⑯自分の気持ちを表情や発声、身振りなどで表現することができる。	⑰様々な刺激を受け入れ、好きな人・物を見つけることができる。	⑱（高）身近な人に表情や発声、身振りなどで働きかけることができる。 （低）身近な人の働きかけに気付いたり、興味をもったりすることができる。
身に付けさせたい力	情緒の安定をはかる	興味や楽しみを持つ	人と関わりを求める
大項目	心豊かに生きる		思いやりのある関わり

○夢や願いに向けて挑戦する児童生徒

高等部	⑲誰からの関わりに対しても、自分の思いを表情や発声、身振りなど自分なりの方法で伝えることができる。 （卒業後の進路先の人にも）	⑳人や環境が変わっても落ち着いた気持ちで活動に取り組むことができる。
中学部	㉑コミュニケーション手段のバリエーションを増やし、日常と違う場面でも自ら関わるができる。 （担任以外の教師にも）	㉒人や環境の変化に気づき、それを表すことができる。
小学部	㉓自分の発声や動きで周囲に変化が起きることに気付いたり、その力を使って身近な人と関わることを楽しんだりすることができる。（親や担任）	㉔集団での学習に慣れ、様々な刺激や感触を受け入れることができる。
身に付けさせたい力	自ら発信する	落ち着いた気持ちで環境に適応する
大項目	自己表現力	環境への適応

資料2① 各教科の目標・内容系列一覧（小学校）

教科	目標	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
国語	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。	(1) 相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話す能力、大事なことを落とさないように聞く能力、話題に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てる。 (2) 経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに、進んで書くこととする態度を育てる。 (3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。	(1) 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す能力、話の中心に気を付けて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てる。 (2) 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書くこととする態度を育てる。 (3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。	(1) 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す能力、話の中心に気を付けて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てる。 (2) 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書くこととする態度を育てる。 (3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。	(1) 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。 (2) 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考え文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書くこととする態度を育てる。 (3) 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。	(1) 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。 (2) 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考え文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書くこととする態度を育てる。 (3) 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。	(1) 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。 (2) 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考え文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書くこととする態度を育てる。 (3) 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。	(1) 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。 (2) 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考え文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書くこととする態度を育てる。 (3) 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。
社会	社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。	(1) 我が国の国土の様子、国土の環境と国民生活との関連について理解できるようにし、環境の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め、国土に対する愛情を育てるようにする。 (2) 我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもちようとする。 (3) 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようとする。	(1) 我が国の国土の様子、国土の環境と国民生活との関連について理解できるようにし、環境の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め、国土に対する愛情を育てるようにする。 (2) 我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもちようとする。 (3) 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようとする。					
算数	算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付かせ、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。	(1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。 (2) 具体物を用いた活動などを通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かにする。 (3) 具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにする。 (4) 具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図などに表したり読み取ったりすることができるようにする。	(1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方についての理解を深めるとともに、加法及び減法についての理解を深め、用いることができるようにする。また、乗法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。 (2) 長さ、重さ及び時間の単位と測定について理解できるようにする。 (3) 図形を構成する要素に着目して、二等辺三角形や正三角形などの図形について理解できるようにする。 (4) 数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり読み取ったりすることができるようにする。	(1) 加法及び減法を適切に用いることができるようにするとともに、乗法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、除法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。さらに、小数及び分数の意味や表し方について理解できるようにする。 (2) 長さ、重さ及び時間の単位と測定について理解できるようにする。 (3) 図形を構成する要素に着目して、二等辺三角形や正三角形などの図形について理解できるようにする。 (4) 数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり読み取ったりすることができるようにする。	(1) 除法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、小数及び分数の意味や表し方についての理解を深め、小数及び分数についての加法及び減法の意味を理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。さらに、概数について理解し、目的に応じて用いることができるようにする。 (2) 面積の単位と測定について理解し、図形の面積を求めることができるようにするとともに、角の大きさの単位と測定について理解できるようにする。 (3) 図形を構成要素及びそれらの位置関係に着目して考察し、平行四辺形やひし形などの平面図形及び直方体などの立体図形について理解できるようにする。 (4) 数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり調べたりすることができるようにする。	(1) 整数の性質についての理解を深める。また、小数の乗法及び除法や分数の加法及び減法の意味についての理解を深め、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。 (2) 三角形や平行四辺形などの面積及び直方体などの面積を求めることができるようにする。また、測定値の平均及び異種の二つの量の割合について理解できるようにする。 (3) 平面図形についての理解を深めるとともに、角柱などの立体図形について理解できるようにする。 (4) 数量の関係を考察するとともに、百分率や円グラフなどを用いて資料の特徴を調べることができるようにする。	(1) 分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。 (2) 円の面積及び角柱などの体積を求めることができるようにするとともに、速さについて理解し、求めることができるようにする。 (3) 縮図や拡大図、対称な図形について理解し、図形についての理解を深める。 (4) 比や比例について理解し、数量の関係の考察に関する考えを用いることができるようにするとともに、文字を用いて式に表すことができるようにする。また、資料の散らばりを調べ統計的に考察することができるようにする。	(1) 分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。 (2) 円の面積及び角柱などの体積を求めることができるようにするとともに、速さについて理解し、求めることができるようにする。 (3) 縮図や拡大図、対称な図形について理解し、図形についての理解を深める。 (4) 比や比例について理解し、数量の関係の考察に関する考えを用いることができるようにするとともに、文字を用いて式に表すことができるようにする。また、資料の散らばりを調べ統計的に考察することができるようにする。
理科	自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事象・現象についての実感をつたえ理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。	(1) 身のまわりの動物や植物、日なたと日陰の地面を比較しながら調べ、見いだした問題を興味・関心をもちて追究したりものつくりをしたりする活動を通して、それらの性質や働きについての見方や考え方を養う。 (2) 身近に見られる動物や植物、日なたと日陰の地面を比較しながら調べ、見いだした問題を興味・関心をもちて追究する活動を通して、生物を愛護する態度を育てるとともに、生物の成長のきまりや体のつくり、生物と環境とのかわり、太陽と地面の様子との関係についての見方や考え方を養う。	(1) 物の重さ、風やゴムの力並びに光、磁石及び電気を動かしたときの現象を比較しながら調べ、見いだした問題を興味・関心をもちて追究したりものつくりをしたりする活動を通して、それらの性質や働きについての見方や考え方を養う。 (2) 身のまわりの動物や植物、日なたと日陰の地面を比較しながら調べ、見いだした問題を興味・関心をもちて追究する活動を通して、生物を愛護する態度を育てるとともに、生物の成長のきまりや体のつくり、生物と環境とのかわり、太陽と地面の様子との関係についての見方や考え方を養う。	(1) 物の重さ、風やゴムの力並びに光、磁石及び電気を動かしたときの現象を比較しながら調べ、見いだした問題を興味・関心をもちて追究したりものつくりをしたりする活動を通して、それらの性質や働きについての見方や考え方を養う。 (2) 身のまわりの動物や植物、日なたと日陰の地面を比較しながら調べ、見いだした問題を興味・関心をもちて追究する活動を通して、生物を愛護する態度を育てるとともに、生物の成長のきまりや体のつくり、生物と環境とのかわり、太陽と地面の様子との関係についての見方や考え方を養う。	(1) 空気や水、物の状態の変化、電気による現象を力、熱、電気の動きと関係付けながら調べ、見いだした問題を興味・関心をもちて追究したりものつくりをしたりする活動を通して、それらの性質や働きについての見方や考え方を養う。 (2) 人の体のつくり、動物の活動や植物の成長、天気の様子、月や星の位置の変化を運動、季節、気温、時間などと関係付けながら調べ、見いだした問題を興味・関心をもちて追究する活動を通して、生物を愛護する態度を育てるとともに、人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境とのかわり、気象現象、月や星の動きについての見方や考え方を養う。	(1) 物の溶け方、振り子の運動、電磁石の変化や働きをそれらにかかわる条件に目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究したりものつくりをしたりする活動を通して、物の変化の規則性についての見方や考え方を養う。 (2) 植物の発芽から結実までの過程、動物の発生や成長、流水の様子、天気の変化を条件、時間、水量、自然災害などに目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生命の連続性、流水の働き、気象現象の規則性についての見方や考え方を養う。	(1) 燃焼、水溶液、てこ及び電気による現象についての要因や規則性を推論しながら調べ、見いだした問題を計画的に追究したりものつくりをしたりする活動を通して、物の性質や規則性についての見方や考え方を養う。 (2) 生物の体のつくりと働き、生物と環境、土地のつくりと変化の様子、月と太陽の関係を推論しながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生物の体の働き、生物と環境とのかわり、土地のつくりと変化のきまり、月の位置や特徴についての見方や考え方を養う。	(1) 燃焼、水溶液、てこ及び電気による現象についての要因や規則性を推論しながら調べ、見いだした問題を計画的に追究したりものつくりをしたりする活動を通して、物の性質や規則性についての見方や考え方を養う。 (2) 生物の体のつくりと働き、生物と環境、土地のつくりと変化の様子、月と太陽の関係を推論しながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生物の体の働き、生物と環境とのかわり、土地のつくりと変化のきまり、月の位置や特徴についての見方や考え方を養う。
生活	具体的な活動や体験を通して、自分を愛する心情と自然とのかかわりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。	(1) 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心をもち、地域のよさに気付かせ、愛着をもちることができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。 (2) 自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心をもち、自然のすばらしさに気付かせ、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。 (3) 身近な人々、社会及び自然とのかかわりを深めることを通して、自分のよさや可能性に気付かせ、意欲と自信をもって生活することができるようにする。 (4) 身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付かせたことや楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの方法により表現し、考えることができるようにする。						
音楽	表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。	(1) 楽しく音楽にかかわり、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。 (2) 基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付くようにする。 (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を育て、音楽を味わって聴くようにする。	(1) 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。 (2) 基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。 (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴くようにする。	(1) 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。 (2) 基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。 (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴くようにする。				
図工	表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。	(1) 進んで表現したり見たりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。 (2) 造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。 (3) 身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取るようにする。	(1) 進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。 (2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。 (3) 身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。	(1) 進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。 (2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。 (3) 身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。	(1) 進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。 (2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。 (3) 身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。	(1) 進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。 (2) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。 (3) 親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にできるようにする。	(1) 進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。 (2) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。 (3) 親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にできるようにする。	
家庭	衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にすることを心がけ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。	(1) 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、自分の成長を自覚するとともに、家庭生活への関心を高め、その大切さに気付くようにする。 (2) 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。 (3) 自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。						
体育	心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。	(1) 簡単なきまりや活動を工夫して各種の運動を楽しむことができるようにするとともに、その基本的な動きを身に付け、体力を養う。 (2) だれとでも仲よくし、健康・安全に留意して意欲的に運動をする態度を育てる。	(1) 活動を工夫して各種の運動を楽しむことができるようにするとともに、その基本的な動きや技能を身に付け、体力を養う。 (2) 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意し、最後まで努力して運動をする態度を育てる。 (3) 健康な生活及び体の発育・発達について理解できるようにし、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。	(1) 活動を工夫して各種の運動を楽しむことができるようにするとともに、その基本的な動きや技能を身に付け、体力を養う。 (2) 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意し、最後まで努力して運動をする態度を育てる。 (3) 健康な生活及び体の発育・発達について理解できるようにし、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。	(1) 活動を工夫して各種の運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、その特性に応じた基本的な技能を身に付け、体力を高める。 (2) 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。 (3) 心の健康、けがの防止及び病気の予防について理解できるようにし、健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。	(1) 活動を工夫して各種の運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、その特性に応じた基本的な技能を身に付け、体力を高める。 (2) 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。 (3) 心の健康、けがの防止及び病気の予防について理解できるようにし、健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。	(1) 活動を工夫して各種の運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、その特性に応じた基本的な技能を身に付け、体力を高める。 (2) 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。 (3) 心の健康、けがの防止及び病気の予防について理解できるようにし、健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。	

資料2② 各教科の目標・内容系列一覧（中学校、高等学校）

教科	目標	1年	2年	3年	教科	目標	科目
国語	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。	(1) 目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考へながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。	(1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。	(1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。	国語	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。	国語総合
		(2) 目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考へて的確に書く能力を身に付けさせるとともに、進んで文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。	(2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。	(2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。			国語表現
		(3) 目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、読書を通してもの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。	(3) 目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方について、注視して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を通してもの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。	(3) 目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。			現代文A
社会	広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成として必要な公民的資質の基礎を養う。	(1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。	(1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。	(1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。	地理歴史	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。	地理A
		(2) 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかわりから見え、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域の特色や地域の課題をとらえさせる。	(2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。	(2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。			世界史A
		(3) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。	(3) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。	(3) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。			現代社会
数学	数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を得得し、事象を数理的に考察し、表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。	(1) 数の正の数と負の数まで扱直し、数の概念についての理解を深める。また、文字を用いることや方程式の必要性と意味を理解するとともに、数量の関係や法則などを一般的にかつ簡潔に表現して処理したり、一元一次方程式を用いたりする能力を培う。	(1) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を養うとともに、連立二元一次方程式について理解し用いる能力を培う。	(1) 数の平方根について理解し、数の概念についての理解を深める。また、目的に応じて計算したり変形したりする能力を培うとともに、二次方程式について理解し用いる能力を培う。	数学	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数理的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。	数I
		(2) 平面図形や空間図形についての観察、操作や実験などの活動を通して、図形に対する直観的な見方や考え方を深めるとともに、論理的に考察し表現する能力を培う。	(2) 基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験などの活動を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の必要性と意味及びその方法を理解し、論理的に考察し表現する能力を培う。	(2) 図形の相似、円周角と中心角の関係や三平方の定理について、観察、操作や実験などの活動を通して理解し、それらを図形の性質の考察や計測に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。			数II
		(3) 具体的な事象を調べることを通して、比例、反比例についての理解を深めるとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を培う。	(3) 具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を培う。	(3) 具体的な事象を調べることを通して、関数について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を培う。			数A
理科	自然の事物・現象にふれ込んで、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。	(1) 物質やエネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり、その中に問題を見いだし意欲的に探究する活動を通して、規則性を発見したり課題を解決したりする方法を習得させる。	(1) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を養うとともに、連立二元一次方程式について理解し用いる能力を培う。	(1) 数の平方根について理解し、数の概念についての理解を深める。また、目的に応じて計算したり変形したりする能力を培うとともに、二次方程式について理解し用いる能力を培う。	理科	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育てる。	科学と人間生活
		(2) 協力的、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。	(2) 生物や生物現象についての観察、実験を行い、観察・実験技能を習得させ、観察、実験の結果を分析して解釈し表現する能力を育てるとともに、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解させ、これらの事物・現象に対する科学的な見方や考え方を養う。	(2) 図形の相似、円周角と中心角の関係や三平方の定理について、観察、操作や実験などの活動を通して理解し、それらを図形の性質の考察や計測に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。			化学基礎
音楽	(1) 活動を工夫して各種の運動の楽しさや喜びを味わうことができるようになるとともに、その特性に応じた基本的な技能を身に付け、体力を高める。 (2) 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。 (3) 心の健康、けがの防止及び病気の予防について理解できるように、健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。	(1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。	(1) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を養うとともに、連立二元一次方程式について理解し用いる能力を培う。	(1) 数の平方根について理解し、数の概念についての理解を深める。また、目的に応じて計算したり変形したりする能力を培うとともに、二次方程式について理解し用いる能力を培う。	音楽	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。	音楽I
		(2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。	(2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。	(2) 図形の相似、円周角と中心角の関係や三平方の定理について、観察、操作や実験などの活動を通して理解し、それらを図形の性質の考察や計測に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。			音楽II
美術	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心豊かに育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。	(1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。	(1) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を養うとともに、連立二元一次方程式について理解し用いる能力を培う。	(1) 数の平方根について理解し、数の概念についての理解を深める。また、目的に応じて計算したり変形したりする能力を培うとともに、二次方程式について理解し用いる能力を培う。	芸術	芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。	美術I
		(2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。	(2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。	(2) 図形の相似、円周角と中心角の関係や三平方の定理について、観察、操作や実験などの活動を通して理解し、それらを図形の性質の考察や計測に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。			美術II
保健体育	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって健康に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。	(1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようになるとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。	(1) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を養うとともに、連立二元一次方程式について理解し用いる能力を培う。	(1) 数の平方根について理解し、数の概念についての理解を深める。また、目的に応じて計算したり変形したりする能力を培うとともに、二次方程式について理解し用いる能力を培う。	保健体育	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を送る態度を育てる。	体育
		(2) 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。	(2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。	(2) 図形の相似、円周角と中心角の関係や三平方の定理について、観察、操作や実験などの活動を通して理解し、それらを図形の性質の考察や計測に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。			保健
技術家庭	生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。	(1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようになるとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。	(1) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を養うとともに、連立二元一次方程式について理解し用いる能力を培う。	(1) 数の平方根について理解し、数の概念についての理解を深める。また、目的に応じて計算したり変形したりする能力を培うとともに、二次方程式について理解し用いる能力を培う。	情報	情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得させ、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。	社会と情報
		(2) 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。	(2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。	(2) 図形の相似、円周角と中心角の関係や三平方の定理について、観察、操作や実験などの活動を通して理解し、それらを図形の性質の考察や計測に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。			家庭
外国語	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。	(1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようになるとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。	(1) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を養うとともに、連立二元一次方程式について理解し用いる能力を培う。	(1) 数の平方根について理解し、数の概念についての理解を深める。また、目的に応じて計算したり変形したりする能力を培うとともに、二次方程式について理解し用いる能力を培う。	外国語	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。	コミュニケーション英語基礎
		(2) 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。	(2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。	(2) 図形の相似、円周角と中心角の関係や三平方の定理について、観察、操作や実験などの活動を通して理解し、それらを図形の性質の考察や計測に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。			コミュニケーション英語I

資料3 各教科の目標・段階・内容の系列一覧（知的障害特別支援学校）

	小学部1段階	小学部2段階	小学部3段階	中学部段階	高等部1段階	高等部2段階
	日常生活の基本的な習慣を身に付け、集団生活への参加に必要な態度や技能を養うとともに、自分と身近な社会や自然とのかわりについて関心を深め、自立的な生活をするための基礎的な能力と態度を育てる。			社会の様子、働きや移り変わりについての関心と理解を深め、社会生活に必要な基礎的な能力と態度を育てる。	社会の様子、働きや移り変わりについての関心と理解を深め、社会生活に必要な能力と態度を育てる。	
				(1) 集団生活の中での役割を理解し、自分の意見を述べたり、相手の立場を考えたりして、互いに協力し合う。 (2) 社会生活に必要ないろいろなきまりがあることを知り、それらを守る。 (3) 日常生活に関する深い公共施設や公共物などの働きが分かり、それらを利用する。 (4) 日常生活で経験する社会の出来事や通信、メディアなどに興味や関心をもち、生産、消費などの経済活動に関する初歩的な事柄を理解する。 (5) 自分が住む地域を中心に、我が国のいろいろな地域の様子や社会の移り変わりに関心をもち、 (6) 外国の様子や世界の出来事などに興味や関心をもち、	(1) 相手や自分の立場を理解し、互いに協力して役割や責任を果たす。 (2) 社会や国にはいろいろなきまりがあることを知り、それらを守り、 (3) 生活に関する深い公共施設や公共物などの働きを理解し、それらを利用する。 (4) 政治、経済、文化などの社会的事象や情報メディアなどに興味や関心をもち、生産、消費などの経済活動に関する基本的な事柄を理解する。 (5) 我が国のいろいろな地域の自然や生活の様子を理解し、社会の変化や伝統に関心をもち、 (6) 外国の自然や人々の生活の様子、世界の出来事に関心をもち、	(1) 個人と社会の関係が分かり、社会の一員としての自覚をもち、 (2) 社会の慣習、生活に関する深い法や制度を知り、必要に応じて生活に生かす。 (3) 公共施設や公共物などの働きについての理解を深め、それらを利用する。 (4) 政治、経済、文化などの社会的事象や情報メディアなどに興味や関心をもち、生産、消費などの経済活動に関する事柄を理解する。 (5) 地図や各種の資料などを活用し、我が国のいろいろな地域の自然や生活の様子、社会の変化や伝統を知る。 (6) 各種の資料を活用し、外国の自然や人々の生活の様子、世界の出来事について知る。
	(1) 日常生活に必要な身辺処理を求めたり、教師と一緒に行動したりする。 (2) 教師と一緒に健康で安全な生活をする。 (3) 教師や友達と同じ場所を遊ぶ。 (4) 教師と一緒に身近な人に簡単なあいさつをする。 (5) 教師と一緒に集団活動に参加する。 (6) 教師と一緒に簡単な手伝いや仕事を覚える。 (7) 教師と一緒に日常生活の簡単なきまりに従って行動する。 (8) 教師と一緒に目録に従って行動する。 (9) 教師と一緒に簡単な買い物をする。 (10) 身近な自然の中で、教師と一緒に遊んだり、自然や生き物に興味や関心をもちたりする。 (11) 家族や家の近所などの様子に興味や関心をもち、 (12) 身近な公共施設や公共物などを教師と一緒に利用する。	(1) 教師の援助を受けながら日常生活に必要な身辺処理をする。 (2) 教師の援助を受けながら健康で安全な生活をする。 (3) 教師や友達と簡単なきまりのある遊びをする。 (4) 教師の援助を受けながら身近な人にあいさつや話をすることのかわりをもつ。 (5) 集団活動に参加し、簡単な役割をする。 (6) 教師の援助を受けながら簡単な手伝いや仕事を覚える。 (7) 日常生活に必要な簡単なきまりやマナーに気付く、それらを守って行動する。 (8) 教師の援助を受けながら、目録に沿って行動する。 (9) 決まった額の買い物をして、金銭の必要なことが分かる。 (10) 身近な自然の中で遊んだり、動植物を育てたりして自然や生き物への興味や関心を深める。 (11) 家族の役割や身近な地域の様子に興味や関心をもち、自分と家庭や社会とのかわりに気付く。 (12) 身近な公共施設や公共物などを教師と一緒に利用する。	(1) 日常生活に必要な身辺処理を自分でする。 (2) 健康や身体の変化に関心をもち、健康で安全な生活をするように心掛ける。 (3) 友達とかわりをもつ、きまりを守って仲良く遊ぶ。 (4) 身近な人と自分とのかわりが分かる、簡単な役割などをする。 (5) 進んで集団生活に参加し、簡単な役割を果たす。 (6) 日常生活で簡単な手伝いや仕事を覚える。 (7) 日常生活に必要な簡単なきまりやマナーに気付く、それらを守って行動する。 (8) 日常生活でのおよその予定が分かる、見通しをもって行動する。 (9) 簡単な買い物をして、金銭の扱いに慣れる。 (10) 身近な自然の事柄・現象に興味や関心を深め、その特徴や変化の様子を知る。 (11) 家庭や社会の様子に興味や関心を深め、その働きを知る。 (12) 身近な公共施設や公共物などを教師と一緒に利用する。	日常生活に関する深い自然の仕組みや働きなどに関する初歩的な事柄についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養うとともに、自然を大切にすることを育てる。 (1) 人の体の主なつくりや働きに関心をもち、 (2) 身近な生物の特徴、その成長及び活動の様子に関心をもち、 (3) 日常生活に関する深い事柄や機械・器具の仕組みと扱いについての初歩的な知識をもち、 (4) 自然の事柄・現象についての興味や関心をもち、日常生活との関係を知る。	自然の仕組みや働きなどについての理解を深め、科学的な見方や考え方を養うとともに、自然を大切にすることを育てる。 (1) 人の体の主なつくりや働きを理解する。 (2) 生物の特徴、その成長や活動の様子について理解し、生命の大切なことを知る。 (3) 生活に関する物質の性質や機械・器具の構造及び働きについて理解し、適切に取り扱う。 (4) 自然の事柄・現象についての初歩的な理解を深めるとともに、自然と生活との関係を理解する。	(1) 人の体の主なつくりや働きについての理解を深めるとともに、人の成長や環境とのかわりについて関心をもち、 (2) 生物とそれを取り巻く自然環境についての理解を深め、生命の大切なことを知る。 (3) 様々な物質の性質や機械・器具の種類、構造及び働きについて理解し、適切に取り扱う。 (4) 自然の事柄・現象についての理解を深めるとともに、自然と生活との関係について理解を深める。
				明るく豊かな職業生活や家庭生活が大切なことに気付くようにするとともに、職業生活及び家庭生活に必要な基礎的な知識と技能の習得を図り、実践的な態度を育てる。 (1) 働くことに関心をもち、作業や実習に参加し、働く喜びを味わう。 (2) 職業に就くためには、基礎的な知識と技能が必要であることを理解する。 (3) 道具や機械、材料の扱いなどが分かる、安全や衛生に気を付けて作業や実習をする。 (4) 自分の役割を理解し、他の者と協力して作業や実習をする。 (5) 産業現場等における実習を通して、いろいろな職業や職業生活、道徳に関心をもち、 (6) 家族がそれぞれの役割を担っていることを理解し、楽しい家族づくりをするために協力する。 (7) 家庭生活に必要な衣服とその着方、食事や調理、住まいや暮らし方などに関する基礎的な知識と技能を身に付ける。 (8) 職業生活や家庭生活で使われるコンピュータ等の情報機器の初歩的な扱いに慣れる。 (9) 家庭生活における余暇の過ごし方が分かる。	勤労の意義について理解するとともに、職業生活に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。 (1) 働くことの意味を理解し、作業や実習に取り組み、働く喜びを味わう。 (2) 道具や機械の操作に慣れるとともに、材料や製品の扱い方を身に付け、安全や衛生に気を付けて作業や実習をする。 (3) 自分の担当に責任をもち、他の者と協力して作業や実習をする。 (4) 適切な道徳選択のために、いろいろな職業や職業生活について知る。 (5) 産業現場等における実習を通して、実際の職業生活を経験する。 (6) 職業生活に必要な健康や余暇の計画的な過ごし方について理解を深める。 (7) 職場で使われる機械やコンピュータ等の情報機器などの簡単な操作をする。	(1) 働くことの意味について理解を深め、積極的に作業や実習に取り組み、職場に必要な態度を身に付ける。 (2) いろいろな道具や機械の仕組み、操作などを理解し、材料や製品の管理を適切に行い、安全や衛生に気を付けて正確に効率よく作業や実習をする。 (3) 作業の工程全体を理解し、自分の担当に責任をもち、他の者と協力して作業や実習をする。 (4) 職業生活に必要な基礎的な知識を深める。 (5) 産業現場等における実習を通して、職業生活に必要な事柄を理解する。 (6) 職業生活に必要な健康や余暇の計画的な過ごし方についての理解を深める。 (7) 職場で使われる機械やコンピュータ等の情報機器などの操作をする。
				明るく豊かな家庭生活を営む上に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。 (1) 家族がそれぞれの役割を果たしていることを理解し、楽しい家族づくりのために自分の役割を果たす。 (2) 家庭生活における計画的な消費や余暇の有効な過ごし方が分かる。 (3) 家庭生活で使用する道具や器具などの正しい使い方が分かる、安全や衛生に気を付けて作業や実習をする。 (4) 被服、食料、住居などに関する実習を通して、実践的な知識と技能を習得する。 (5) 保育や家庭看護などに関心をもち、	明るく豊かな家庭生活を営む上に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。 (1) 家族がそれぞれの役割を果たしていることを理解し、楽しい家族づくりのために自分の役割を果たす。 (2) 家庭生活における計画的な消費や余暇の有効な過ごし方について理解を深める。 (3) 家庭生活で使用する道具や器具を効率的に使用し、安全や衛生に気を付けて作業や実習をする。 (4) 被服、食料、住居などに関する実習を通して、健康で安全な生活に必要な基礎的な知識と技能を習得する。 (5) 保育や家庭看護などに関する基礎的な知識と技能を習得する。	(1) 家族の機能や家族の役割を理解し、楽しい家族づくりのために積極的に役割を果たす。 (2) 家庭生活における計画的な消費や余暇の有効な過ごし方について理解を深める。 (3) 家庭生活で使用する道具や器具を効率的に使用し、安全や衛生に気を付けて作業や実習をする。 (4) 被服、食料、住居などに関する実習を通して、健康で安全な生活に必要な基礎的な知識と技能を習得する。 (5) 保育や家庭看護などに関する基礎的な知識と技能を習得する。
				日常生活に必要な国語を理解し、伝え合う力を養うとともに、それらを表現する能力と態度を育てる。 (1) 教師の話や読み聞かせ、絵本などを聞いてもらったり、教師の話や読み聞かせに積極的に参加したりする。 (2) 身近な自然や身近な人、動物や植物に興味や関心をもち、 (3) 身近な自然の中で遊んだり、自然や生き物に興味や関心をもち、 (4) 身近な自然の中で遊んだり、動植物を育てたりして自然や生き物への興味や関心を深める。 (5) 身近な自然の中で遊んだり、動植物を育てたりして自然や生き物への興味や関心を深める。 (6) 身近な自然の中で遊んだり、動植物を育てたりして自然や生き物への興味や関心を深める。 (7) 身近な自然の中で遊んだり、動植物を育てたりして自然や生き物への興味や関心を深める。 (8) 身近な自然の中で遊んだり、動植物を育てたりして自然や生き物への興味や関心を深める。 (9) 身近な自然の中で遊んだり、動植物を育てたりして自然や生き物への興味や関心を深める。 (10) 身近な自然の中で遊んだり、動植物を育てたりして自然や生き物への興味や関心を深める。 (11) 身近な自然の中で遊んだり、動植物を育てたりして自然や生き物への興味や関心を深める。 (12) 身近な自然の中で遊んだり、動植物を育てたりして自然や生き物への興味や関心を深める。	日常生活に必要な国語についての理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、それらを活用する能力と態度を育てる。 (1) 話のおよその内容を聞き取る。 (2) 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見などを相手に分かるように話す。 (3) 文字や図表、文及び文章などを正しく読む。 (4) 簡単な手紙や日記などの内容を順序立てて書く。	(1) 話し手の意図や気持ちや考えながら、話の内容を適切に聞き取る。 (2) 自分の立場や意図をはっきりさせながら、相手や目的、場に応じて適切に話す。 (3) 目的や意図などに応じて文章の概要や要点などを適切に読み取る。 (4) 相手や目的に応じていろいろな文章を適切に書く。
				日常生活に必要な数量や図形などに関する初歩的な事柄についての理解を深め、それらを活用する能力と態度を育てる。 (1) 日常生活における初歩的な数量の処理や計算をする。 (2) 長さ・重さなどの単位が分かる、測定する。 (3) 図形の特徴や図表の内容を理解し、作成する。 (4) 金銭や時計・暦などの使い方に慣れる。	生活に必要な数量や図形などに関する理解を深め、それらを活用する能力と態度を育てる。 (1) 日常生活に必要な数量の処理や計算をする。 (2) 長さ・重さなどの単位の関係が分かる、測定する。 (3) 図形を正しく作図したり、表やグラフを工夫して作ったりする。 (4) 金銭や時計・暦などの正しい使い方が分かる。	(1) 生活に必要な数量の処理や計算をする。 (2) 長さ・重さ・量などの測定方法を理解し、活用する。 (3) 様々な図形、表やグラフを理解し、工夫して使う。 (4) 生活に必要な金銭や時計・暦などを工夫して使う。
				表現及び鑑賞の活動を通して、音楽についての興味や関心をもち、その美しさや楽しさを味わうようにする。 (1) 好きな音や音楽を聴いて楽しむ。 (2) 友達や教師とともに簡単なリズムの特徴を感じ取って身体を動かす。 (3) 打楽器などを使ってリズム遊びや簡単な合奏をする。 (4) 好きな歌ややさしい旋律の一部分を楽しく歌う。	表現及び鑑賞の能力を培い、音楽についての興味や関心を深め、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。 (1) いろいろな音楽や楽器の音色などに関心をもち、聴く。 (2) 音楽を聴いて感じたことを動作で表現したり、リズムに合わせて身体表現をしたりする。 (3) 打楽器や弦楽器などを使って、自由に演奏したり、合奏や独奏をしたりする。 (4) 歌詞やリズムなどに気を付けて、独唱、斉唱、簡単な輪唱などをやる。	(1) いろいろな音楽をその美しさなどを感じ取りながら鑑賞する。 (2) 音楽を聴いて感じたイメージを創造的に身体表現する。 (3) 打楽器、弦楽器などの演奏の仕方に慣れ、楽器の特色や音色を生かしながら合奏や独奏をする。 (4) 独唱、斉唱、二部合唱、オレレッタなどによる表現に慣れ、歌詞の内容や曲想などを味わいながら歌う。
				初歩的な造形活動によって、造形表現についての興味や関心をもち、表現の喜びを味わうようにする。 (1) 見たり、触ったり、嗅いだり、味ったりすることに関心をもち、 (2) 土、紙などの身近な材料をもとに造形遊びをする。	造形活動によって、表現及び鑑賞の能力を培い、豊かな情操を養う。 (1) 経験や想像をもとに、計画を立てて、絵をかくたり、作品をつくったり、それらを飾ったりする。 (2) いろいろな材料や用具などの扱い方を理解して使う。 (3) 自然や造形物の美しさなどに親しみをもち、	(1) 経験や想像をもとに、様々な技法などを用いて、創造的に絵をかくたり、作品をつくったり、それらを飾ったりする。 (2) いろいろな材料の性質や用具などの扱い方を理解し、適切に使う。 (3) 自然や優れた造形物を鑑賞し、美しさなどを味わうとともに、地域の伝統工芸品に関心をもち、
				適切な運動の経験を通して、健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。 (1) 教師と一緒に、楽しく手を動かしたり、歩く、走るなどの基本的な運動をしたりする。 (2) いろいろな楽器・器具・用具を使った遊び、表現遊び、水遊びなどを楽しく行う。 (3) 簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をする。	適切な運動の経験や健康・安全についての理解を通して、健康の保持増進と体力の向上を図るとともに、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。 (1) 体づくり運動、簡単なスポーツ、ダンスなどの運動をする。 (2) きまりやいろいろなスポーツのルールなどを守り、友達と協力して安全に運動をする。 (3) 自分の発達・発達に関心をもち、健康・安全に関する初歩的な事柄を理解したりする。	(1) 体づくり運動、いろいろなスポーツ、ダンスなどの運動を通して、体力や技能を高める。 (2) きまりやいろいろなスポーツのルールなどを守り、友達と協力して安全に運動をする。 (3) 心身の発達・発達に関心をもち、生活に必要な健康・安全に関する事柄の理解を深める。
				外国語に親しみ、簡単な表現を通して、外国語や外国への関心を育てる。 (1) 身近な生活の中で見聞きする英語に興味や関心をもち、 (2) 簡単な英語を使って表現する。 (3) 簡単な英語を使って表現する。	外国語でコミュニケーションを図る基礎的な能力と態度を育てるとともに、外国語や外国への関心を深める。 (1) 簡単な英語を使って表現したり、やりとりしたりする。 (2) 簡単な英語、句、文に興味や関心をもち、 (3) 日常生活の中で見聞きする語や句の意味を知る。	(1) 初歩的な英語を使って簡単な会話をしたりする。 (2) 簡単な英語、句、文を意味をわかって読み取ったりする。 (3) 簡単な英語、句、文の意味を知る。

資料4 学習指導案について

①学習指導案の様式について

本校の学習指導案は、教科の実態把握から目標設定、評価の設定に至る流れが明確になるように記述することとしている。目標別のグループで学習している場合においては、研究の対象とする児童生徒に焦点化して記述しているが、授業の概要を把握することができるよう、対象児童生徒以外の実態や授業の目標についても記述する場合がある。

以下に本校の学習指導案に記載されている項目と各項目における記載事項を記す。

項目	記載事項
1 対象の児童生徒について	(1) 所属学部 学年 対象者名（イニシャル） (2) 障害の状態 ・特に研究授業と関連のある実態を記述する。 (3) 各種検査結果とその解釈 ・検査名とその結果及び結果の解釈を記す。 (4) 学習到達度について ・学習到達度チェックリストのスコア及びその解釈をスコアの根拠となる行動を基に記す。 ・学習指導要領の段階と内容に照らし合わせてその習得度を記す。 (5) 卒業までに身に付けてほしい力 ・個別の教育支援計画に記載している、本校の「卒業までに身に付けてほしい力」マトリクスの項目を記す。
2 対象児童生徒の週時程	・対象者の週時程表（時間割）を示し、研究授業で取り上げた教科等の学びの場や時数を明らかにする。
3 指導方針	・2までに記述した内容を踏まえて、該当授業の指導方針を記述する。
4 年間指導計画	・対象者の所属する類型の教育課程表を添付する。必要に応じて、単元構成表、学習内容表などの資料も添付する。
5 単元（題材）について	(1) 単元（題材）名 (2) 単元（題材）設定の理由 ・取り扱う単元（題材）の特徴、学習指導要領における位置づけについて記述する。 ・対象者が所属する学習グループの実態とこれまでの指導の様子を記述する。 ・単元（題材）の指導方針や配慮事項を記述する。 (3) 単元の目標 ・本単元において主に取り扱う内容のまとまりを明らかにしつつ、単元の目標を設定する。 (4) 単元の指導計画 ・本単元の指導計画及び本時の位置や時間数、各時間にどのような指導を行うか分かるように記述する。

	<ul style="list-style-type: none"> 一定の期間を通じて同単元で繰り返し指導している内容については、年間指導計画の添付に替える。
6 本時について	<p>(1) 本時の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標を受け、本時の目標を設定する。 <p>(2) 本時の対象者の目標及び評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時に取り扱う主な内容に対応して目標と評価を設定する。 評価は目標に準拠して評価の観点ごとに評価規準と評価基準を設定する。 評価基準はA、B、Cの基準を設け、客観的に判断することができる記述に努める。 <p>(3) 本時の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の展開は、対象者に焦点化して記述する。 時間の配分（導入～展開～まとめ）を明らかにし、区切って記述する。 学習活動を児童生徒の視点から記述する。 学習活動における評価のポイントを評価規準と評価基準をもとに児童生徒の具体的な姿として記述する。 学習活動上必要であったり、評価規準に記載された姿にせまるために必要だったりする指導上の手立てや配慮を記述する。手立てや配慮は特に評価基準と関連する。 その他、活用する教材等については、備考欄に記述する。 <p>(4) 配置図</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者の学習環境や指導者の配置を記述する。（本報告書の資料では省略）

②研究授業一覧（指導案は資料5）

No.	研究グループ名	学部課程	授業名	単元名・題材名
1	国語 注意・やりとりグループ	中学部 Ⅲ課程C類型	国語	「次は何か出てくるかな」
2	国語 役割・習慣グループ	高等部 Ⅲ課程C類型	国語	「話し合いをしよう」
3	算数・数学 注意・やりとりグループ	中学部 Ⅲ課程C類型	数学	「見て、触って、動かそう」
4	算数・数学 役割・習慣グループ	小学部 Ⅲ課程B類型	算数	「なかまをあつめよう」

・掲載にあたり、本来掲載、添付されている教育課程に関する資料、配置図等を省略している。

国語科 学習指導案

対 象 中学部2年Ⅲ課程C類型
 (男子1名、女子2名 計3名)
指 導 者 八重石 (T1) 長方 (T2)

1 対象の生徒について

(1) 中学部2年 T

(2) 障害の状態

レット症候群

本生徒は、人への関心が高く、教師に視線を向けて、笑顔になったり、嬉しいときに「あはは」と声を出して笑ったりして情動を伝えることができるが、人からの働きかけに対して意思表示することが難しい。自分で顔や頭をかくなど、自分で上肢を動かす姿は見られるが、レット症候群によく見られる手をヒラヒラさせる常同運動があるため、対象物に手を伸ばすのに時間がかかる。物を注視・追視することは得意だが、教師が意図して提示した物を見るのに時間がかかる。

(3) 各種検査結果とその解釈

検査名：遠城寺乳幼児分析的発達検査（平成29年 5月 6日実施）

移動運動 0：6.5 手の運動 0：2.5 基本的な生活習慣 0：3.5

対人関係 0：8.5 発語 0：4.5 言語理解 0：6.5

<解 釈>

- ・対人関係、言語理解が他の項目より優れており、人への関心の高さを示している。
手の運動については常同運動があるため目的をもって手を動かし、物の操作することが難しい。

(4) 学習到達度について

①学習到達度チェックリストの結果

	観点	スコア	スコアの根拠となる行動
国語	受け止め・対応 (聞くこと)	4	<ul style="list-style-type: none"> ・あやされると笑う(○)→教師が視線を合わせながら話しかけると笑顔になる。 ・声をかけられると表情で応じる(○)→声をかけられて笑顔になったり困った表情を見せたりする。 ・特定の声によく反応する(○)
	表現・要求 (話すこと)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・すでに知っていることに期待して求める(○)→教師が絵本を提示すると笑顔になって絵本を見たり、教師の顔を見たりする。 ・大人の働きかけに、「アー」「ウー」など声を出す(△)→声を出すことがあるが頻度は少ない。 ・親しい人やおもちゃなどに向かって、声を出すまたは手を伸ばす(△)→要求するために声を出したり、物に手を伸ばしたりすることは確実ではない。
	見ること (読むこと)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃを口に持っていきながら見る(×)→上肢の操作が難しい。 ・180度、見てものを追う(○) ・おもちゃの車や転がるボールを目で追う(○)
	操作 (書くこと)	2	<ul style="list-style-type: none"> ・腕や手足を動かす(○) ・手が口に動く(○)→頭をかくことができる。 ・からだをそらす(×)

本生徒は意図的な上肢の操作が困難であるため「操作」ではスコア2の段階にあるものの、全体としてはスコア4の段階意義にあるような「他者への注意と反応」、「注意の持続」「物の単純な操作」の段階に達していると捉えられる。「見ること」についてはスコア6に達しており、見る力を活用した学習が有効的であると考えられる。

②本生徒の学習指導要領の段階と内容

(国語) 1ー(1) 教師の話の聞いたり(○)、絵本などを読んでもらったりする(○)。

1ー(2) 教師などの話しかけに応じ(△)、表情(○)、身振り(×)、簡単な音声や言葉で表現する(×)。

1ー(3) 教師と一緒に絵本などを楽しむ(△)。

1ー(4) いろいろな筆記用具を使って書くことに親しむ(×)。

○・・・7割以上 △・・・3割以上7割未満 ×・・・3割未満

(5)卒業までに身に付けてほしい力(マトリクスの身に付けさせたい力とのつながり)【個別の教育支援計画より】

○好きな玩具など目的の物に向かって、ずり這いで進むことができる。(自分に合った動作や姿勢をとる)

○給食時に口唇閉鎖の支援がなくても唇を閉じて食べ物の取りこみができる。(生活リズムを整える)

○お茶や給食の終わりや好きな玩具やいろいろな物を選ぶときに視線や手を伸ばすなどの方法で伝えることができる。(自ら発信する)

卒業までに身に付けてほしい力として「お茶や給食の終わりや好きな玩具やいろいろな物を選ぶときに視線や手を伸ばすなどの方法で伝えることができる。」とあることから、国語の学習では視線での意思伝達を確立にすることで、要求したり選択したりする力につながるのではないかと考える。また、自分でかゆいところをかくなど、意図的に手を

操作する力は保有しているということから、対象に向かって手を伸ばして働きかける学習を行うことで、手を使った意思の伝達手段としての可能性が広がるのではないかと考えられる。

2 本生徒の週時程

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	自立活動				
3	保健体育	音楽	音楽	生活単元学習	保健体育
4	生活単元学習	生活単元学習	美術	生活単元学習	生活単元学習
5	自立活動（食事の指導）				
6	日常生活の指導				
	国語・数学				
7		生活単元学習	総合	特別活動	

3 指導方針

(1) 学びの履歴

これまでの国語に関する学習では、絵本の読み聞かせや2つの物から好きなほうを視線で選ぶ学習、手を伸ばして物に働きかける学習を行ってきている。絵本の読み聞かせでは、教師が絵本を提示すると笑顔になって期待することができた。視線での選択では、2つの物から一方を見て、教師に視線を移し、再び同じ物を見ることで選択することができるが、確実ではない。（玩具が写っている2枚の写真カードから好きな方を6割程度の確立で選ぶことができる。2つの絵本から好きな方を6～8割程度の確立で選ぶことができる）。手を伸ばして物に働きかける学習では、VOCAのスイッチを本人の手の近くに置くと、自分から手を動かして押すことができるが時間がかかる。

(2) 学習到達度チェックリストの目標となるスコアと本生徒の実態

○・・・7割以上 △・・・3割以上7割未満 ×・・・3割未満

観点	目標スコア	スコアの代表的な行動 →根拠となる行動やその解釈
聞くこと	6	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2の3で、3の前に期待する表情をする（○） ・「いけません」などの声で動きが止まるか、表情が変わる。（△） →表情が変化することもあるが確実ではない。また常同運動があるため、動きの変化を読み取ることが難しい。 ・簡単な音をまねする（×）
話すこと	8	<ul style="list-style-type: none"> ・視線や声、体を動かしたりして、相手の注意をひく（△） →物と教師を交互に見て要求することができるが確実ではない。 ・顔をそむけたり、払いのけたりして嫌がる。（○） ・手を伸ばして「アー」と声を出して物を欲しがると（×）
読むこと	8	<ul style="list-style-type: none"> ・大人が積んでいる積み木をじっと見る（○） ・落としたおもちゃを見る（×） ・絵本の中の動物等をさすとそれを見る（△） →教師が意図して提示した物を見るのに時間がかかる。
書くこと	4	<ul style="list-style-type: none"> ・手に触れた物をつかむ。（×） ・触られると緊張するが、予告をすると緊張しない（△） ・親しい人へ手を伸ばす（△） →特定の人には手を伸ばすことがあるが、ほとんど見られない。

(3) 国語の学習内容表（H28年度の本校全校研究で作成）より選定した学習内容

観点	目標スコアに対応する国語の学習内容
聞くこと	⑥「1、2、3」で3の前に期待する表情をする。 ⑦「いけません」等の声で動きを止める。 ⑧話す人の顔を見続ける。
話すこと	⑪要求があるとき、視線や声、身体の動きなどで相手の注意を引く。 ⑫大人の働きかけに、「いや」という自分の気持ちを手や足で押しつける等の方法で表す。 ⑬2つの物から興味のある方を選ぶ（視線・手を伸ばす）
読むこと	⑩絵本の中の動物などを指さすとそれを見る。 ⑪鏡を見て、笑いかけたり話したりする
書くこと	④手に触れたものをつかむ。 ⑤持ったものを数秒間つかんでおく

本生徒の実態のスコアから、目標となるスコアに対応した学習内容を導き出した。学びの履歴や身につけさせたい力を考慮すると以下のような指導方針が考えられる

「話すこと」については、これまでの学習で行ってきている視線や手を動かすなどの本人なりの意思の伝達手段を確立することで、パターン化された働きかけから、次の展開を予測して視線や身振りなどで応答する力を育てていく。

「聞くこと」については、教師の「ちょうだい」の身振りや言葉かけに応じて物を渡すなど、教師とやりとりをする学習を行うことで、簡単な言葉を理解したり、身振りによる働きかけに応じたりする力を育てていく。

「読むこと」については、目の前で指差されたものを見るなど働き手と共同注視をしたり、意図して提示した物に注目したりする学習を行うことで見て学ぶ力を育てていく。

「書くこと」については、提示されたものに働きかける学習を行うことで対象に直接触れたり、手を伸ばして向かおうとしたりする力を育てていく。

4 年間指導計画

※別紙省略

5 単元について

(1) 単元名「次は何が出てくるかな」

(2) 単元設定の理由

本学習グループは3名で構成されており、いずれの生徒もスコア6の段階・意義にある「学習による行動変化」や「やりとりの予測・パターン化」「音声や表情による対応や模倣」をさらに充実させながら、スコア8の段階意義にある「言語への応答」や「物を介したやりとりの芽生え」「活動の結果の理解」「音声や身振りによる働きかけ」を目指して学習をする段階にある。そこで、本単元では、やりとりを予測することや予測していることを表現すること、教師からの働きかけに身振りや視線で応じる学習を行う。

本単元では題材として「地下100階だての家」という絵本を扱う。本題材は主人公が地下100階立ての家のパーティーに招待され、さまざまな生き物と出会いながら、地下100階を目指して進んでいく物語である。各階で出会った生き物たちと一緒に歌ったり、楽器を演奏したり、ゲームをしたりする場面があり、次にどんな生き物が登場するのか、どんな楽しいことが待っているのか、読み手に期待させるような構成になっている。また、大型絵本であるため、生徒にとって物語が始まることを意識しやすく、

ページをめくる際の場面展開がダイナミックである。

本単元では絵本の読み聞かせを通して、ストーリーに沿った3つの活動を行い、「聞く・話す能力」を育てていく。1つ目は教師の働きかけに応じて楽器の受け渡しを行ったり、楽器に手を伸ばして音を鳴らしたりする活動、2つ目は2つの箱の一方に隠された物を探し出す活動、3つ目はスイッチに働きかけて音を鳴らす学習である。これらの活動を通して「言語の応答」や「物を介したやりとりの芽生え」「活動の結果の理解」「音声や身振りによる働きかけ」などの力を育てていく。そして、これらの活動は毎回、教師が衝立の中から登場して行うことで、「教師が衝立てから登場して楽しい活動をする」ということをパターンとして覚えさせ、「また次も教師が衝立から登場する」ということを予測して視線をついたてに移す姿を引き出すようにしたい。このように、授業の展開をパターンとして覚えることで、次の展開を予測する力を育てていきたい。

(3) 単元の目標

- ①簡単な授業の展開を予測することができる。
- ②教師の働きかけに応じて物語の一場面を再現することができる。

(4) 単元の指導計画

読み聞かせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5時間
演奏をしよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5時間
宝探しをしよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5時間
歌を鳴らそう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5時間
見て、触って、動かそう・・・・・・・・・・・・・・・・	15時間（本時10／15）

6 本時について

(1) 本時の目標

授業の展開を予測していることを表現することができる

(2) 本時のTの目標及び評価

評価観点	国語への関心・意欲・態度	聞く・話す（受け止め・対応、表現・要求）	
評価規準	教師に視線を向けて話を聞こうとしている。	T2の掛け声でT1が衝立から登場することを予測して、衝立を見る。	かごの中に鈴が入っていることが分かり、教師がかごを開けようとする期待した反応を示す。
評価基準	A 笑顔で絵本の読み聞かせを聞いたり、活動したりする。	A 1回目のT1の登場場面で、教師が衝立から登場することを予測して衝立を見る。	A 鈴の入った箱を教師が開けようすると、笑顔で箱を見たり、声を出したりする。
	B 眠らずに絵本の読み聞かせを聞いたり、活動したりする。	B 2回目のT1の登場場面で、教師が衝立から登場することを予測して衝立を見る。	B 鈴の入った箱を開けるときの「3、2、1」の掛け声で笑顔になったり、声を出したりする。
	C 眠ってしまい、絵本の読み聞かせを聞いたり、活動したりしない。	C 教師が衝立から登場することを予測して衝立を見ることはない。	C 鈴の入った箱を教師が開けようとしたり、「3、2、1」と掛け声を掛けても表情に変化がない。

(3) 本時の展開

時間	学習活動	評価のポイントとなる児童生徒の姿	○手だて ■配慮事項	準備
導入 5分	① 始まりのあいさつをする ② 返事をする	・話す人を見続ける。 (受け止め・対応)	○名前を呼んで、生徒と視線を合わせる。難しい場合は、生徒の目の前で名前を呼ぶ。	・絵本
展開 25分	③ 絵本を見る	・話す人や絵本を見続ける。 (受け止め・対応)	○T2は、絵本が見やすいように、机や椅子に乗せ、イラストが見えるように提示する。	
	④ 活動① をする 「演奏の練習」 ・教師と楽器のやりとりをする ・やまの音楽家に合わせて楽器を鳴らす	・話す人や物を見続ける。 (関心・意欲・態度) ・「演奏のせんせーい」の声を聞いて、教師が登場する衝立を見たり、表情を変えたりして、その後の展開を予測する。(表現・要求) ・手を出して物(楽器)に働きかける。(外界の知覚認知)	■生徒が興味・関心を示す物にする。 ○T1は、生徒から見える位置にある衝立に隠れておく。T2の「演奏のせんせーい」の声で反応がない場合は、衝立の中から「はーい」と返事し、T2が衝立の向こうにいることを生徒に知らせ、再度T2の「演奏のせんせーい」の声で勢いよく登場する。 ○「どうぞ」などの声かけをするときには、生徒の目の前で行う。	・太鼓 ・ばち ・鈴 ・ピアノの玩具 ・衝立
	⑤ 活動② をする 「宝探し」 ・目の前に隠された物を探す	・話す人や物を見続ける。 (関心・意欲・態度) ・「宝探しのせんせーい」の声を聞いて、教師が登場する衝立を見たり、表情を変えたりして、その後の展開を予測する。(表現・要求) ・2つの箱の一方に隠された物を探することができる (数と計算) ・箱に物が入っていることを予測し、教師が箱を開けるときに期待した表情を見せる。 (表現・要求)	■隠す物は、鈴や光る玩具など、生徒が興味・関心を示す物にする。 ○活動①と同様。 ○生徒が一方の箱を見て、その後教師に視線を向け、再び一方の箱を見ることで選んだと判断する。 ○箱を開ける際は「3、2、1」と掛け声をかける。	・かご ・鈴
	⑥ 活動③ をする ・スイッチを押して歌を流す	・話す人や物を見続ける。 (関心・意欲・態度) ・音を鳴らそうとスイッチを押すことができる。 (外界の知覚認知) ・スイッチに働きかけて、その物とは違うものから何らかの刺激が起こることがわかる。 (操作)	○スイッチを追視させたり、声かけをしたり、触らせたりしてスイッチがあることに気付かせる。	
	⑦ 絵本を見る	・話す人や絵本を見続ける。	○T2が再度、登場したことで絵本を読むことを意識させてから読む。	
まとめ 5分	⑧ 本時を振り返る ⑨ 終わりのあいさつ	・話す人を見続ける。 (受け止め・対応)	○教師に視線が向いているか確認をして挨拶をさせる。	

国語科 学習指導案

対 象：高等部3年Ⅲ課程B類型
(男子3名、女子2名 計5名)
指 導 者：高瀬 (T1) 澤井 (T2)

1 対象の生徒について

(1) 高等部3年 A

(2) 障害の状態

・脳性まひ

筋緊張が強いため、言葉がやや不明瞭である。加えて斜視の影響もあり、文字が読みづらかったり、形の整わない文字を書いたりすることが多い。周りの状況が気になり注意がそれやすい。

(3) 検査結果とその解釈

・田中ビネー知能検査 V (H27.5.21 実施) IQ：42

<解釈>

問題全般において、聞かれたことへの返答がスムーズで、質問に対する応答性も合わせている。「問題場面への対応」や「関係類推」から簡単な言葉を聞いてイメージし、そこから予想される答えを導き出す力があると思われる。

(4) 学習到達度について

①学習到達度チェックリストの結果

<国語>

聞く：60 話す：72 読む：60 書く：60

②知的障害学習指導要領の段階と内容に照らした実態〔国語〕

<小学部3段階>

- (1) 身近な人の話を聞いて、内容のあらましが分かる。(○)
- (2) 見聞きしたことなどのあらまじや自分の気持ちなどを教師や友達と話す。(○)
- (3) 簡単な語句や短い文などを正しく読む。(○)
- (4) 簡単な語句や短い文を平仮名などで書く。(○)

<中学部段階>

- (1) 話のおよその内容を聞き取る。(△)
- (2) 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見などを相手に分かるように話す。(○)
- (3) 簡単な語句、文及び文章などを正しく読む。(△)
- (4) 簡単な手紙や日記などの内容を順序立てて書く。(△)

<高等部1段階>

- (1) 話の要点を落とさないように聞き取る。(△)
- (2) 目的や場に応じて要点を落とさないように話す。(○)
- (3) いろいろな語句、文及び文章を正しく読み、内容を読み取る。(×)
- (4) 手紙や日記などを目的に応じて正しく書く。(×)

③役割・習慣グループで検討したスコア60の学習内容として考えられるもの（知的校長会の学習内容）

＜聞くこと＞

- ・教師などの説明や友達の話などを聞いて、およその内容が分かる。(○)
- ・物語、劇、映画、テレビなどを見たり、聞いたりして楽しみ、簡単な感想を話す。(○)
- ・簡単な放送や録音などの内容の概略を聞き取ったりすることができる。(○)
- ・話を終わりまで注意して聞いたり、分からないときは聞き返したりする。(△)
- ・実際的な場面で、指示や説明などを聞き取って行動する。(△)

＜話すこと＞

- ・状態や動作を表す言葉を言う。(○)
 - ・見聞きしたことや経験したことのあらまじや、自分の気持ちなどを、家の人や教師などに話す。(○)
 - ・話し合いや学級会などで、聞き手の方を向いて、はっきり話す。(△)
 - ・簡単な伝言をする。(○)
 - ・分からないときは、尋ねる。(○)
 - ・自分の希望や意見を発表する。(○)
 - ・友達と一緒に、簡単な劇などをする。(○)
 - ・必要なときは、丁寧な言葉で話す。(○)
 - ・電話で、身近な人と話をする。(○)
 - ・なるべく正しい発音で話す。(特性として困難)
- 以上の結果より、概ねスコア60はクリアしているものとし、目標を小学校1・2年生から選んだ。

(5) 卒業までに身に付けてほしい力

- ①活動ごとに、時間を守ることや適切に活動が遂行できたかを振り返り、教師に次回の改善点を伝えることができる。
- ②様々な人との関わりの中で、自分の意見を主張するだけでなく、相手の意見を尊重し、場の状況に合わせた行動をとることができる。
- ③社会の慣習や生活に関係の深い福祉的な制度やサービスを知り、自分に必要なサービスや制度を認識する。

国語の学習においては、②の内容が主に関連すると思われる。①③についても、自分の言動を振り返ったり、表現したり、自分自身のことを考えたりするためにも、語彙を増やすことや言葉で自分の考えや思いを表現する力を伸ばすことが、卒業後に事業所等で様々な人とコミュニケーションを取りながら豊かな生活を送ることにつながると考えられる。

2 本グループの週時程

	月	火	水	木	金
1	日生／体育				日生／生単
2	総合	数学	自立	家庭	生単
3	LHR	作業	生単		音楽
4	体育		数学	体育	国語
5	自立（給食）				
6	自立	音楽	作業	美術	自立
7		国語			

3 指導方針

卒業までに身に付けてほしい力に挙げてある、語彙を増やすことや言葉で自分の考えや思いを表現する力を伸ばすことを目指して話し合い活動に取り組ませる。本生徒は、話すことより聞くことがやや苦手なので、司会者を務めることで仲間の話を聞き、話し合いをまとめていく楽しさを味わってほしいと考えている。

4 年間指導計画

※別紙省略

5 単元（題材）について

(1) 単元名

「話し合いをしよう」

(2) 単元設定の理由

本グループの生徒は明るく活発で、互いの人柄や性格をよく理解している。一方で、生徒達の側には母親や教師などがいることが多いため、自分の考えを言葉にして伝えることが難しかったり、大人に判断を委ねたりすることも多い。

本単元では、互いの話を集中して聞き、約束に従って自分の意見を言えることをねらっている。さらに、一部の生徒には司会を担当させ、異なる考えなどについてもしっかりと聞いて公平に判断することができる力を育てたいと考えている。

指導に当たっては、生徒全員が積極的に参加できるよう、発言することが難しい生徒には説明を補足したり、選択肢から選ばせたりするなどして発言を促したい。

(3) 単元の目標

互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うことができる

(4) 単元の指導計画

- 社会体験学習で学んだこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- みんなが楽しく過ごすためには？・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- 充実した休日の過ごし方は？・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- 学年レクをしよう！・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- 夏休みに、みんなで遊びに行こう！・・・・・・・・1時間（本時）
- 充実した高校生活を送るには？・・・・・・・・・・・・・・・・1時間

6 本時について

(1) 本時の目標

- ・話し合っ、必要な事柄を決めることができる

(2) 本時の目標及び評価

- ・話し合っ、必要な事柄を決めることができる

評価の観点		関心・意欲・態度	話す・聞く能力
評価規準		話し合っ物事を決めていくことの良さや楽しさを感じながら、グループの考えを一つにまとめようとしている。	考えを一つにまとめるために、自分はどれが良いと思うかを考えたり、自分の意見と結び付けたりしながら聞いている。
評価基準	A	楽しさを感じながら、必要な事項を決めることができる。	自分はどれが良いと思うかを考えたり、自分の意見と結び付けたりしながら聞いている。
	B	必要な事項を決めることができる。	人の意見を、自分の意見と同じ部分や違う部分に気を付けながら聞いている。
	C	教師の支援を受けて、必要な事項を決めることができる。	人の意見を、自分の意見と結び付けて聞くことができない。

(3) 本時の展開

時間	学習活動	評価のポイントとなる生徒の姿	手立てや配慮事項	備考準備
導入 5分	①始まりの挨拶をする。 ②本時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢を正して、挨拶をすることができる。 ・話し合うことを楽しみにすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール ・時計
展開 30分	③話し合いをする。	<p><出し合う></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が意見を発表できるよう促すことができる。 ・話がそれぞれになったら、戻すことができる。 <p><比べる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の意見を聞いて、自分はどれが良いと思うかを考えたり、自分の意見と結び付けたりしながら聞くことができる。 <p><まとめる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な事項を決めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表していない生徒がいたら、そのことに気付くよう声をかける。 ・話がそれぞれになったら、そのことに気付くよう声をかける。 ・人の意見が聞き取れていないときは、要約させたり、自分の意見との相違点を発表させたりする。 ・まとめることが難しいときは、多数決や複数の意見を合わせて新しい考えをつくるよう促す。 	
まとめ 10分	④本時を振り返る。 ⑤終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・発言や態度など良かった点、改善すべき点を質問され、答えることができる。 ・姿勢を正して、挨拶をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・答えられないときは、印象的なシーンを思い出すよう促す。 ・必要に応じて声をかける。 	

数学科 学習指導案

対 象 中学部2年Ⅲ課程C類型
 (男子1名 女子2名 計3名)
 指 導 者 野崎 (T1) 西岡 (T2)

1 対象の児童生徒について

(1) 中学部2年 M

(2) 障害の状態

主障害は、てんかん発作（ウエスト症候群）であり、学校で発作はほとんどないが、自宅では頻繁に起こっている。特に、発作は起床時に多く、発作後は入眠することが多い。そのため、体調が思わしくなかったり覚醒が低かったりし、学習に集中して参加することや学習の積み重ねが難しい。

学習においては、興味・関心の幅が狭く、特定の教師と関わるのが好きで、関わりに対しては微笑んだり声を出したりする要求のような、気を引くような言動がある。指示の理解や教師とのやりとりをするまでには至っていないが、手の届く範囲であれば自ら手を伸ばし取ったり、振ったりすることができる。

(3) 各種検査結果とその解釈

○遠城寺式乳幼児分析的発達検査（平成29年4月25日実施）

移動運動 0：8.5 手の運動 0：8.5 基本的習慣 0：8.5
 対人関係 0：6.5 発 語 0：9.5 言語理解 0：4.5

〈解 釈〉

○発語や対人関係の数値は高いことから、人への興味関心があることが考えられる。
 ○言語理解の数値が他と比べると低く、指示理解や言葉への応答は苦手であると考えられる。

(4) 学習到達度について

①学習到達度チェックリスト〈数学〉の結果

観点	スコア	スコアの根拠となる行動 (スコアを判断した行動を段階・意義に照らして記述する)
数と計算	8	○目の前の物を「こっちこっち」と声かけをしながら指さすと、それらを見ることができる。 ○目の前で隠された物を探す探索的操作や「もう1回やって」や「またしたい」などの活動と結果の理解は、環境や条件などでの違いはあるが、難しいときが多い。
量と測定	8	○ふくらむ風船や目の前の人の動きなどに注目することはできる。 ○ジュースや牛乳などが飲んでなくなったことなどは、分かるときはあるが、活動と結果の理解には至っていない。 ○選ぶ対象の中に特別好きな物があり、体調の良いときには、2つのうち1つを選ぶことができるが、物を介したやりとりの芽生えや教師の言葉かけに対する応答を理解した活動には至っていない。
図形	8	○視界に入った物を手に取り振ったり落としたりすることができる。 ○教師の「ここに入れて」の声かけや指さしや少し手を添えるなどの援助があれば、積み木などをかごに入れたり出したりすることができる。

②学習指導要領の段階と内容

(数学) 1 - (1) 具体物があることが分かり (○)、見分けたり (×)、分類したりする (×)。

1 - (2) 身近にあるものの大小や多少などに関心をもつ (×)。

1 - (3) 身近にあるものの形の違いに気付く (×)。

(5) 卒業までに身に付けてほしい力 (個別の教育支援計画より)

○日常生活に必要な基本的動作や姿勢に慣れ、保持し、いくつかの主体的な動きを引き出すことができる。

○様々な活動を通して、人を意識し、表情や身振りなどで働きかけることができる。

○コミュニケーション手段を増やし、自ら関わることができる。

2 本生徒の週時程

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習	美術
3	体育	自立活動	自立活動		体育
4	自立活動	音楽	音楽	自立活動	自立活動
5	食事の指導				
6	国語・数学				
7		生活単元学習	総合的な学習	特別活動	

3 指導方針

(1) 学びの履歴

これまでの数学に関する学習では、手を伸ばして物を取ったり渡したりする学習や大きさや量の変化に注目する学習、目の前で隠された物を探す学習などを行ってきた。手を伸ばして物を取ることは確実にでき、物を渡すことは教師が身振りを付けて「ちょうだい」と声かけをすると7割程度できる。量の変化については、見えやすい物や位置からの提示であれば、ほぼ注目することができる。探索活動については、ハンカチで物を覆うと探すことが6割程度できる。

(2) 学習到達度チェックリストの目標となるスコアと本生徒の実態

本生徒の到達度チェックリスト (数学) のスコアは全て8であるが、今回の単元では次段階のスコア12は狙わずに、スコア8の段階・意義を深めたり定着させたりすることをねらう。到達度チェックリストは、一つの枠の3項目のうち、△が2つで○になるが、本生徒の場合は、特に、その△の達成度が5割未満のもの多い。また、既習した学習であっても体調次第で達成度が変化することが多く、学習の積み重ねが難しい状態にあるが、△がより○に近くなるように、スコア8を確実に身に付けさせたいと考える。

最初に、授業の中で到達度チェックリストと学習内容表を基に国語・数学の両面からの総合的な視点からの実態把握を行った。本生徒は、注意の持続や追従は高い割合でできているが、「活動と結果のつながりへの気付き」までには至っておらず、特に事象・事物への関連が弱いことが見えてきた。さらに、物よりも人に関心があり、そちらに注意が向いてしまったり、物を提示すると手に取るが持ったままになったり落としてしまったりするなど、目的的な行動につながっていない。そこで、パターン化した活動を取り入れ、「活動と結果への気付き」につながるよう学習を進めていく。

4 年間指導計画

※別紙省略

5 単元（題材）について

(1) 単元名「見て、触って、動かそう」

(2) 単元設定の理由

本学習グループは、学習到達度チェックリストのスコアや生徒の実態を考慮した3名で編成されている。数学は、学習到達度チェックリストのスコア2～8であり、スコア6の「注意の追従」「物のやや複雑な操作」「状況に合わせた自体の操作」の段階意義を充実させながら、スコア8の段階・意義にある「物を介してやりとりの芽生え」「活動と結果の理解」を目指して学習をする段階にある。そこで、数学の本単元ではパターン化された展開の中で、「活動と結果のつながりへの気付き」や「対象を理解する力」を目指した学習を行う。

本単元は、国語と数学の両方の学習内容を組み込み、学習を進めていく。題材として「地下100回立ての家」という絵本を扱う。大型絵本であるため生徒にとって絵本の読み聞かせが始まることを意識しやすく、ページをめくる際の場面展開がダイナミックである。本題材は、主人公が地下100階立ての家のパーティーに招待され、さまざまな生き物と出会いながら、地下100階を目指す物語である。絵本の読み聞かせを行いながら、ストーリーに沿った3つの活動を行う。1つ目は教師の働きかけに応じて楽器の受け渡しを行い、楽器に手を伸ばして音を鳴らす活動、2つ目は箱の中に隠された物を探し出す活動、3つ目はスイッチに働きかけて音を鳴らす活動である。これらの活動を通して、物を見続ける力や物を探索する力、教師の働きかけに応じる力などを育てていきたい。

(3) 単元の目標

○教師との物を介したやりとりの中で、自ら具体物を操作したり探したりすることができる。

(4) 単元の指導計画

- ・読み聞かせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5時間
- ・活動① 演奏をしよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5時間
- ・活動② 宝探しをしよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5時間
- ・活動③ 歌を鳴らそう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5時間
- ・見て、触って、動かそう・・・・・・・・・・・・・・・・15時間（本時10/15）

6 本時について

(1) 本時の目標

○教師との物を介したやりとりの中で、具体物を操作したり探したりすることができる。

(2) 本時のK・Mさんの目標及び評価

○目の前で隠された鈴を取ることができる。（数と計算）

評価の観点	関心・意欲・態度	数と計算
評価規準	提示された物を見続けることができる。	目の前に提示されたかごの中にある鈴を探することができる。
評価基準	A提示された物を見続けることができる。 B提示された物を最初は見るが、注意が続かない。 C提示された物ではなく、教師やよそを見ている。	Aかごの中にある鈴に自分で気付いて取ることができる。 B教師が鈴を指さしや声かけをすると、鈴に気付いて取ることができる。 C教師が中の鈴を目の前に提示すると、鈴に気付いて取ることができる。

(3) 本時の展開

時間	学習活動	評価のポイントとなる児童生徒の姿	○手だて ■配慮事項	備考・準備
導入 5分	① 始まりのあいさつをする ② 返事をする	・話す人を見続ける。 (受け止め・対応)	○教師に視線が向いているか確認をして、名前を呼ぶ。呼んでも反応がない場合は、教師が手を出し、タッチを求める。	・絵本
展開 25分	③ 絵本を見る	・話す人や絵本を見続ける。 (受け止め・対応)	■絵本は注目しやすいように、大型絵本にする。 ○T1は、絵本が見やすいように、机や椅子に乗せ、イラストが見えるように提示する。	
	④ 活動① をする 「演奏の練習」 ・教師と楽器のやりとりをする ・やまの音楽家に合わせて楽器を鳴らす	・話す人や物を見続ける。 (関心・意欲・態度) ・「演奏のせんせーい」の声や「はい」の返事を聞いて、振り返って見たり表情を変えたりして、何かあることに気付くことができる。 (表現・要求) ・「どうぞ」で受け取ったり、「ちょうだい」で渡したりできる。 (表現・要求) ・手を出して物をつかむことができる。 (外界の知覚認知)	■生徒が興味・関心を示す物にする。 ○T2は、生徒の左後ろから、気付きやすいように、声を出しながらゆっくり登場する。 そのとき、T1はすばやく後ろに移動する。 ○「どうぞ」などの声かけをするときには、生徒の目の前で行う。 ○物や教師を意識して見た後に、取らせるようする。	・太鼓 ・ばち ・鈴 ・ピアノの玩具 ・つい立て ・かご
	⑤ 活動② をする 「宝探し」 ・目の前に隠された物を探す	・話す人や物を見続ける。 (関心・意欲・態度) ・「宝探しのせんせーい」の声や「はい」の返事を聞いて、振り返って見たり表情を変えたりして、何かあることに気付くことができる。 (表現・要求) ・要求があるとき、視線や声、身体の動きなどで相手の注意をひくことができる。 (表現・要求) ・「こっちこっち」と物を示すとそれらを見ることができる。 (数と計算) ・目の前で隠された物を探すことができる。 (数と計算)	■隠す物は、鈴や光る玩具など、生徒が興味・関心を示す物にする。 ○T2同じように登場。T1は後ろへ。 ○物を隠すところを見ているか確認し、見てない場合や探すことができてない場合は、再度、物を提示したり、教師が「こっちこっち」などの声かけや指さしをしたりする。	・鈴 ・光るボール
	⑥ 活動③ をする ・スイッチを押して歌を流す	・話す人や物を見続ける。 (関心・意欲・態度) ・音を鳴らそうとスイッチを押すことができる。 (外界の知覚認知) ・スイッチに働きかけて、その物とは違うものから何らかの刺激が起こることがわかる。 (操作)	○スイッチを追視させたり、声かけをしたり、触らせたりしてスイッチがあることに気付かせる。	
	⑦ 絵本を見る	・話す人や絵本を見続ける。	○T1が再度、登場したことで絵本を読むことを意識させてから読む。	
まとめ 5分	⑧ 本時を振り返る ⑨ 終わりのあいさつ	・話す人を見続ける。 (受け止め・対応)	○教師に視線が向いているか確認をして挨拶をさせる。	

算数科 学習指導案

対 象 小学部6年Ⅲ課程B類型
 (男子1名、女子1名 計2名)
 指 導 者 吉田(T1) 山口(T2)

1 対象の児童について

(1) 小学部6年 M

(2) 障害の状態

主たる障害名は裂脳症であり、右半身にまひがあり、右手での操作が難しい。左手は手の平の中に納まる小石程度くらいなら持ち上げることができたり、正中線を越えて操作できたりする。言葉は不明瞭であるが、好きな物(「あいぱ(iPad)」「あんぱん(アンパンマン)」「電車」など)や「パン」や「牛乳」「スープ」「おかじ(おかず)」、数名の友達の愛称(〇〇ちゃん)など10個程度の言葉を言うことができる。短期記憶では、昨日のできごとなどを覚えていて、「だれと、どこに」などの質問に答えることができる。

(3) 各種検査結果とその解釈

○遠城寺式乳幼児分析的発達検査(H29年4月30日実施)

移動運動 0:6.5 手の運動 2: 1.5 基本的生活習慣 1: 1
 対人関係 2:4.5 発 語 1:10.5 言 語 理 解 3:10

<解釈>

- ・移動運動や動作を伴う基本的生活習慣に著しい遅れが見られるが、手の運動の発達がやや高いことから、手の操作を伴う動作は得意とする。
- ・言語理解が高いが、発語の発達に遅れが見られ、対人関係にやや影響している。

(4) 学習到達度について

①学習到達度チェックリストの結果

	観点	スコア	スコアの根拠となる行動
算数	数と計算	48	数字カードを見ながら、教師と一緒に10までの数字を数えることができる。教師がクラスメイトを指すのを見ながら6まで数えることができる。教師の「1つ足して」という指示に正しく応じることができる。
	量と測定	48	「前へ」や「後ろへ」などの教師の指示が分かり、電動車椅子で移動することができる。体にのせた砂の量を感じて、「重い」「軽い」が分かる。
	図形	36	5種類ほどある図形のパズルから指示された形や色のパズルを取ることができる。動物の影を見て、2~3枚ある動物の絵から同じものを選ぶことができる。

②学習指導要領の段階と内容に照らした実態

(算数)

- 1－(1) 具体物があることが分かり(○)、見分けたり(○)、分類したりする(△)。
- 1－(2) 身近にあるものの大小や多少などに関心をもつ(○)。
- 1－(3) 身近にあるものの形の違いに気付く(○)。
- 2－(1) 身近にある具体物を数える(△)。
- 2－(2) 身近にあるものの長さやかさなどを比較する(△)。
- 2－(3) 基本的な図形や簡単な図表に関心をもつ(△)。

(5) 身に付けてほしい力(個別の教育支援計画より)

- 教師の援助によって自分に必要な運動を理解しながら身体を動かすことができる。
- 様々な活動を行う中で、知識を増やし、社会性を育て、自分なりに楽しむ。
- 困ったこと、手伝ってほしいことを周りの人(近くにいる知っている人)に伝えることができる。

2 本児童の週時程

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
	国語・算数				
2	自立活動	国語・算数	生活単元学習 ／特活	自立活動	生活単元学 習
3	図画工作	体育		国語・算数	
4	日常生活の指導				
	自立活動(食事の指導)				
5	自立活動(食事の指導)				
6	音楽		自立活動	音楽	自立活動
7			国語・算数	生活単元学習	

3 指導方針

本児童の「小学部6年生の終わりまでにめざす姿」は「電動車椅子やiPadを活用しながら、自分で行動したり自分の気持ちを伝えたりする」である。今後、生活の中でより円滑に自分の言葉やタブレットPCなどの機器を活用しながら自分で行動したり、周りの人へ伝えたりするためには、見たり経験したりしたことをできるだけ的確に捉え、必要な情報を整理することによって、より豊かで、より有意義な生活を送ることが可能になると考える。児童を取り巻いている事物には、数量や形などの属性があり、普段いろいろな数量や形に囲まれて生活している。本児の実態から、形や色によって分類することはできるようになっているが、属性や関係性が深いものによって分類することはまだ曖昧なところがある。よって、事物を見分けたり、分類したりする力をより確実なものにしていきたい。それが、数を数える基礎になり、学習到達度チェックリストで未達成

である数を数える力や数を操作する力につながるのではないかと考える。学習到達度チェックリストの目標となるスコアとそれに対応する学習内容は以下のとおりである。

	観点	スコア	目標スコアに対応する学習内容
算数	数と計算	48	<ul style="list-style-type: none"> ・10までの数字を数える(△)→具体物を指で指しながら、10まで順に数えることができるようになる。 ・5までの数字は操作できる(△)→5までの数を合成したり、分解したりすることができるようになる。
	量と測定	60	<ul style="list-style-type: none"> ・「長い方」とか「高い方」などと言い表す(■)→絵などを見て、棒やひもなどを使って測るなどして調べることができるようになる。
	図形	48	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の中の丸い物を全て見つける(△)→雑然とした中から、同じ特性を持った形見つけたり、集めたりすることができるようになる。 ・三角を合わせて長方形をつくる(※)→教師の師範を見て、形の特性に気づき、操作することができるようになる。

4 年間指導計画

※別紙省略

5 単元について

(1) 単元名「なかまをあつめよう」

(2) 単元設定の理由

本学習グループは小学部教育課程ⅢB類型であり、6年児童2名(男子1名、女子1名)で構成されている。本グループの児童は、両下肢の著しい障害があり、2名とも車椅子を使用している。教師が提示するものに注目することができ、質問にも発声や表情で答えることができるが、1名は全身の筋緊張が強いため、発声に時間を要することがある。また、1名は手を使う操作がある程度できるが、1名は思うように上肢を操作することが難しい。2名とも日常生活に使う物の名前や動きを表す言葉などをよく知っている。しかし、名前は知っていても同じ属性に分けたり、関係性が深いものを集めたりする経験は少ない。また、数を数えることについては、5までの数の具体物が一列に並んでいるものを数えることは容易だが、ばらばらにおいてあるものを数えることはまだ難しい。6以上になると教師と一緒に指しながらであれば数えることができるが、一人で数えることはまだ曖昧であり、数の概念を理解したりするまでは至っていない。

算数科の学習では、これまでに形や色に分類したり、関連の深い一対の物を対応させたりする学習を行ってきた。○や△などの簡単な形や原色の色に注目して分類することはできるが、同じ属性に集める学習は未経験である。児童を取り巻くものは色や形だけでなく、いろいろな情報にあふれている。その中から必要な情報のみを取り出して分類する仕方があることを指導していきたい。仲間を集めて集合づくりができるように学習することで数の集合を知ることができ、数を数えることができるようになったり、数の概念を理解したりすることができるようになることを考える。

本単元では、日常の生活でなじみのある物の絵を使って、同じ属性に仲間を集める学習を行っていきたい。教科書『さんすう☆』P50～53の例題のように枠の中に示してある絵を見て、下の絵の中から似ているものを探して集める学習を行う。本グループの児童は、一列に並んでいるものが比較的につえやすいため、探す絵は一列に並べておくことにする。また、問題の解き方を理解するために最初は、これまでに経験している形や色で集める学習を行う。解き方を十分理解したところで、用途、目的、機能などに着目し、関連づけて集める学習を繰り返し行っていきたい。下に並べる絵は、同じ属性や関係の深いもの以外はあきらかに違うものを並べて、児童たちが混乱しないようにしたい。また、仲間集めを繰り返し行い、同じ属性に注目できるようになったら、仲間外れを見つける学習にも取り組み、必要な情報を取り出して分類する力を高めていきたい。

(3) 単元の目標

○同じ仲間を集めたり、仲間外れを見つけたりする。

(4) 単元の指導計画

- ・同じ仲間を集めよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・2時間(本時1/2時間)
- ・同じ仲間を集めたり、仲間外れを見つけたりしよう・・・・・・1時間

6 本時について

(1) 本時の目標

○枠の中の絵を見て、同じ属性の仲間を下の絵から2枚集める。

(2) 本時のMさんの目標及び評価

評価の観点	関心・意欲・態度	数量の基礎
評価規準	自ら絵カードの操作を始めることができたか。	枠の中の絵と同じ属性の絵を2枚集めることができたか。
評価基準	A絵カードが提示されるとすぐに自分から操作を始めることができる。	A3種類の属性が分かり、枠の中の絵と同じ属性の絵を集めることができる。
	B絵カードが提示されるとしばらくしてから自分から操作を始めることができる。	B1種類の属性が分かり、枠の中の絵と同じ属性の絵を集めることができる。
	C絵カードを提示されて、教師の声かけを受けて操作を始めることができる。	C教師と一緒に絵カードを一つ一つ確認しながら、同じ属性の絵を集めることができる。

(3) 本時の展開

時間	学習活動	評価のポイントとなる児童の姿	手だてや配慮事項	備考・準備
導入 2分	1. 始まりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> 日直の号令に対して「気をつけ・礼」の動作をとることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 最初は言葉だけで自分から動作を待つ。タイミングがうまく取れなかった場合は、教師が声をかける。 	
展開① 10分	2. 同じ形の仲間を集める。 3. 同じ色の仲間を集める。	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板や絵カードに注目することができたか。(関心・意欲・態度) 同じ形や色で、仲間を集めることができたか。(数量の基礎) 	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板のスライドを使い、児童が注目しやすいようにする。 教師と一問一答しながら、仲間を集める仕方を理解させる。 児童が絵を一つずつ分けやすいようにプリントと絵カードを準備する。 枠の中の絵を見て、なかまあつめが難しい場合は、集める手がかりとなる形や色を表したカードを提示する。 	電子黒板 ホワイトボード プリント 絵カード ○△□カード 色カード
展開② 30分	4. 同じ属性の仲間を集める。	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板や絵カードに注目することができたか。(関心・意欲・態度) 教師の師範に注目することができたか。(関心・意欲・態度) 教師が仲間であるか発問したときに正解を答えることができたか。(数量の基礎) 絵カードが提示されると自分から進んで取り組むことができたか。(関心・意欲・態度) 卓上ボードの上で四角の中の絵のなかまを集めることができたか。(数量の基礎) 	<ul style="list-style-type: none"> 形や色に注目するのではなく、枠の中の絵をよく見て、下に並べてある絵を見て共通することを考えながら仲間を集めること知らせる。 最初は教師が仲間を集め、どんなところに注目したらよいか師範を見せる。 教師と演習を行った後、個別に別れて問題に取り組ませる。 児童Mには、絵カードは操作がしやすいように、5mm厚のカードを準備する。 児童Nは、教師が一枚ずつ提示するカードに対して、間違いのときはNoを示す舌の突出で答えさせる。 	卓上ボード
まとめ 3分	5. 本児を振り返る。 6. 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> 自分でがんばったところを発表することができたか。(関心・意欲・態度) 日直の号令に対して「気をつけ・礼」の動作をとることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 本児の活動を確認し、本児の反応を見て評価する。 がんばったところを称賛し、達成感を味わわせる。 号令の声かけを行う。 	

国語の学習内容表 スコア1～12

本校のめざす児童生徒像		〇心身ともに健康でたくましく生きる児童生徒		〇心豊かで思いやりのある児童生徒		〇夢や願いに向けて挑戦する児童生徒			
身に付けてほしい力		人や物と関わる	生活リズムを整える	自分に合った姿勢や動作を身につける	情緒の安定を図る	興味や楽しみをもつ	人へ関わりを求める	自ら発信する	落ち着いた気持ちで環境に適応する
高部卒業までに国語で身に付けてほしい力		呼名や、「ちょうだい」などの簡単な言葉を理解し、それに応じた行動をする。		自分の要求を、視線や身振り、発声、発語などの手段で自ら身近な人に伝える。		人や提示された絵、写真、映像などに一定時間注意を向ける。		手を使ったレクリエーション活動に、手を伸ばすなどして能動的に参加する。	
スコア	段階意義	スコア	段階意義	スコア	段階意義	スコア	段階意義	スコア	段階意義
12	言語指示への応答、相対的なやりとりの拡大、発語、手指の巧緻性移動	呼名や、「ちょうだい」などの簡単な言葉を理解し、それに応じた行動をする。 ⑭言葉のみ（おいで、ちょうだいなど）の簡単な要求を理解し応える。 ⑮簡単な言葉を聞いて真似をする。 ⑯自分の名前を呼ばれると返事をする。	自分の要求を、視線や身振り、発声、発語などの手段で自ら身近な人に伝える。 ⑰大人のまねをして、手を合わせるなどの簡単な身振りで要求を伝える。 ⑱欲しいものと、大人の顔を交互に見て要求する。	人や提示された絵、写真、映像などに一定時間注意を向ける。 ⑲絵本を読んでもらうと、じっと見ながら聞く。 ⑳大人が指さしたものの見たり方向を見る。 ㉑身近な人を目で追う。	手を使ったレクリエーション活動に、手を伸ばすなどして能動的に参加する。 ㉒目の前のボールに手を伸ばし、相手に向け転がそうとする。 ㉓筆やペンで紙をトントンと叩いて、点を書いたり、なぐり書きをしたりする。 ㉔親指と人差し指で物をつまみ、少し動かす。 ㉕玩具の車を手で走らせる。				
8	言葉への応答、物を介したやりとりの芽生え、音声や身振りによる動きかけ、活動と結果の理解、探索的操作、姿勢の保持・変換	その場の文脈を手掛かりにして、簡単な言葉を理解したり、身振りによる動きかけに応じたりする。 ⑰「ちょうだい」の身振りや言葉かけで、物を差し出そうとしたり渡したりする。 ⑱「バイバイ」に手を振ったり「ダメ」に首を振ったりする。 ㉑「こっちだよ」という声をかけられた方を見る。	視線や身振り、発声などで大人に欲しい物を伝えたり、自分に注意を向けてもらおうとしたりする。 ⑲二つの物から興味のある方を選ぶ（視線・手を伸ばす）。 ⑳大人の動きかけに、「いや」という自分の気持ちを手や足で押しつける等の方法で表す。 ㉑要求がある時、視線や声、身体の動きなどで、相手の注意を引く。	目の前で指差された物を見る。（絵本の中の動物などを指差すと注目する。） ⑲鏡を見て、笑いかけたり話したりする。 ⑳絵本の中の動物などを指さすとそれを見る。	行動を始める前に、手に持った物を見たり、落としたり、ぶつけたりすることを繰り返し行う。 ㉑棒状の物を持って、叩いたり、打ちつけたりする。 ㉒持っている物を放して置いたり入れたりする。				
6	学習による行動変化、やり取りの予測・パターン化、音声や表情の模倣、注意の追従、物のやや複雑な操作、状況に合わせた自体的操作	パターン化した学習を通して、その場に応じた行動を選択する。 ⑳「1、2の3」で3の前に期待する表情をする。 ㉑「いけません」等の声で動きを止める。 ㉒話す人の顔を見続ける。	特定の人のパターン化された動きかけから、次の展開を予測して、視線や身振り、発声などの手段で応答する。 ㉑大人の動きかけに「アー」「ウー」など自分なりに声を出す。 ㉒やりとりを予測して期待するような表情や動きをする。 ㉓特定の人とそうでない人を区別する。	特定の人や見慣れた物、好きな物を目で追う。 ㉑落としたりおもちゃなどを見る。 ㉒動く玩具やボールを追って見る。 ㉓親しみと怒った顔が分かる。 ㉔特定の人に対してよく笑いかける。	物を扱うこと（押す、振るなど）を繰り返ししたり、提示された物に手を出してつかもうとしたりする。 ㉑スイッチに動き掛けて、その物とは違う物から何らかの刺激が起こる（スイッチを押して玩具を動かす）ことが分かる。 ㉒紙をぐしゃぐしゃにする。 ㉓手を出して物をつかむ。				
4	他者への注意と反応、発声、注意の持続、物の単純な操作、自体的操作	特定の人の動きかけに対して、注意を向け、なんらかの反応をする。 ㉑特定の人の声によく反応する。 ㉒人が歌っているときとじっと聞き入り歌っている人を見つめる。	視線や表情で身近な大人への関心を示す。 ㉑目の前で自分の名前を呼ばれると、発声で応じたり手足をバタバタさせたりする。 ㉒身近な人に向かって、笑ったり身体を動かしたり声を出したりする。 ㉓意図のある発声をする。	目の前の人顔や物をじっと見る。 ㉑いろいろな場所にあるものを視線を移しながら注視する。 ㉒映像をじっと見たり、外の様子をまじまじと見たりする。	対象に直接触れたり、手を伸ばしたりして向かおうとする。 ㉑つかんだものを振ったり引いたりする（握ったまま動かす）。 ㉒持った物を、数秒間、つかんでおく。 ㉓手に触れたものをつかむ。				
2	外界への注意の焦点化と探索、自発運動	音が鳴る等の外界の変化に気付いて、動きを止める。 ⑳抱いたり話しかけたりしてくる大人に対して泣き止んだり、顔を向けたりする。 ㉑音がしたと、止まったことに気付いて、動きを止める。	外界の変化に気付いて、視線や身体を動かす。 ㉑関わられている人の方へ視線を向けたり顔を動かしたりする。 ㉒人の声や音、動くものに気づいて、目や身体を動かす。	目の前の人や顔を少し（3秒ほど）見る。 ㉑目の前で光ったり動いたりする物を3秒ほど見る。 ㉒目の前で関わられている人の顔を3秒ほど見る。	手を動かして口に持っていきなど、自分の身体に向けた感覚運動を繰り返し行う。 ㉑手を握ったり、開いたり、口に持っていきたりする。 ㉒音や声が聞こえる方向に視線を向けるなどの反応を示す。				
1	外界の刺激や活動への遭遇、反射的の反応	音や声などに対して、反射的に目を開いたり、身体に力が入ったりする。 ㉑大きな音に驚く。	光や音、姿勢の変化などの外界刺激に反応する。 ㉑機嫌のよい声を出す。 ㉒声を出して泣く。	光の方を見たり、まぶしがったりする。 ㉑明るさや色の変化に目を閉じようとする。	受動的な体験が主となり、視覚、聴覚、触覚などの刺激に反応する行動をする。 ㉑突然の音や光に緊張して身構えたり、身体を急に動かされると驚いたりする。				
スコア	段階、意義	スコアごとの目指す姿	学習内容	スコアごとの目指す姿	学習内容	スコアごとの目指す姿	学習内容	スコアごとの目指す姿	学習内容
児童生徒に備わる必要のある力		聞くこと（指示の理解）		話すこと（意思の伝達）		読むこと（視覚刺激への注意）		書くこと（社会参加）	
教科 国語									

国語の学習内容表（スコア18～60）

本校のめざす児童生徒像		○心身ともに健康でたくましく生きる児童生徒		○心豊かで思いやりのある児童生徒		○夢や願いに向けて挑戦する児童生徒				
身に付けてほしい力		人や物と関わる	生活リズムを整える	自分に合った姿勢や動作を身につける	情緒の安定を図る	興味や楽しみをもつ	人へ関わりを求め	自ら発信する	落ち着いた気持ちで環境に適応する	
スコア	段階・意義	耳からの情報を整理して行動で表す。	できごとや気持ち、意思、希望などの大体的内容を人に伝える。	平仮名がいくつか読める。	身近なものの名前を文字で書こうとする。（「りんご」→○○○など正しい文字でなくても可）	高等卒業までに国語で身に付けてほしい力	耳からの情報を整理して行動で表す。	できごとや気持ち、意思、希望などの大体的内容を人に伝える。	平仮名がいくつか読める。	身近なものの名前を文字で書こうとする。（「りんご」→○○○など正しい文字でなくても可）
60	予測や見通しをもって行動、役割を意識した協同遊び	耳からの情報を整理して行動で表す。	できごとや気持ち、意思、希望などの大体的内容を人に伝える。	平仮名がいくつか読める。	身近なものの名前を文字で書こうとする。（「りんご」→○○○など正しい文字でなくても可）	スコア	耳からの情報を整理して行動で表す。	できごとや気持ち、意思、希望などの大体的内容を人に伝える。	平仮名がいくつか読める。	身近なものの名前を文字で書こうとする。（「りんご」→○○○など正しい文字でなくても可）
48	物の特性の理解と目的をもった遊びや行動、決まりへの気づき	話を最後まで聞いて一部分を理解したり、四語文の指示で行動したりする。	できごとを簡単な言葉で話したり、簡単な質問をしたりして会話のやりとりをしようとする。	平仮名に関心を持って読もうとする。	鉛筆で書くことに興味をもち、その使い方や動かしかたを獲得する。	スコア	話を最後まで聞いて一部分を理解したり、四語文の指示で行動したりする。	できごとを簡単な言葉で話したり、簡単な質問をしたりして会話のやりとりをしようとする。	平仮名に関心を持って読もうとする。	鉛筆で書くことに興味をもち、その使い方や動かしかたを獲得する。
36	身辺自立、質問の増加、自己主張・拒否の明確化、友人との関わり増加（平行遊び）	興味のある話や三語文の指示を終わりで聞き、行動に表す。	自分から言葉を使って話をしようとする。	短い単語、絵、写真のマッチングをする。	簡単ななぞり書きや形を書こうとする。	スコア	興味のある話や三語文の指示を終わりで聞き、行動に表す。	自分から言葉を使って話をしようとする。	短い単語、絵、写真のマッチングをする。	簡単ななぞり書きや形を書こうとする。
24	食事、着替えの部分的な身辺自立、語彙の増加、自己主張・拒否の芽生え、ごっこ遊び、他児への興味	日常生活で用いる二語文の指示に応じて行動する。	教師や友達などの名前を言って要求を伝えようとする。	具体物や簡単な図形と見比べて「違う」「同じ」がわかる。	なぐり書きや短い線を書こうとする。	スコア	日常生活で用いる二語文の指示に応じて行動する。	教師や友達などの名前を言って要求を伝えようとする。	具体物や簡単な図形と見比べて「違う」「同じ」がわかる。	なぐり書きや短い線を書こうとする。
18	言葉の意味理解、意図の理解と共有、要求の明確化	「帽子をかぶって」などの1つの指示を理解し、それに応じた行動をする。	言葉や動作で自分の要求や意思を相手に分かるように伝える。	他の人のしぐさを見て真似たり見分けたりする。	「ちょうだい」「どうぞ」など意味のある言葉を通して、物の操作ができる。	スコア	「帽子をかぶって」などの1つの指示を理解し、それに応じた行動をする。	言葉や動作で自分の要求や意思を相手に分かるように伝える。	他の人のしぐさを見て真似たり見分けたりする。	「ちょうだい」「どうぞ」など意味のある言葉を通して、物の操作ができる。
スコア	段階、意義	スコアごとの目指す姿	スコアごとの目指す姿	スコアごとの目指す姿	スコアごとの目指す姿	スコア	スコアごとの目指す姿	スコアごとの目指す姿	スコアごとの目指す姿	スコアごとの目指す姿
	児童生徒に備わる必要のある力	聞くこと（指示の理解）	話すこと（意思の伝達）	読むこと（視覚刺激への注意）	書くこと（社会参加）	教科	聞くこと（指示の理解）	話すこと（意思の伝達）	読むこと（視覚刺激への注意）	書くこと（社会参加）

資料7① 算数・数学の学習内容表（スコア1～12）

算数・数学の学習内容表（スコア1～12）

本校のめざす児童生徒像		心身ともに健康でたくましく生きる児童生			〇心豊かで思いやりのある児童生徒		〇夢や願いに向けて挑戦する児童生徒		
身に付けてほしい力		人や物と関わる	生活リズムを整える	自分に合った姿勢や動作を身につける	情緒の安定を図る	興味や楽しみをもつ	人へ関わりを求め	自ら発信する	落ち着いた気持ちで環境に適応する
高等部卒業までにめざす姿		指示された物を取ったり、渡したりすることや、物の簡単な順番を理解して行動することができる		物の大きさや量などに関心を持ち、自分の好きな方を選ぶことができる		物の形に注目し、触れたり、選んだりすることができる。			
スコア	段階意義	⑦〇〇をしてから〇〇をするなど、順番が分かる。		④物の多さの変化や大きさの違いに関心をもつ。		⑥容器から容器へ水を移し変えようとする。			
#	言語指示への応答、相互的なやりとりの拡大、発語、手指の巧緻性移動	⑥2つの物で、こっち頂戴に答える。		③朝昼晩の違いを、日々の生活の中で理解する。		⑤数枚の絵カードから指示された絵を見つけ、指す。			
8	言葉への応答、物を介したやりとりの芽生え、音声や身振りによる動きかけ、活動と結果の理解、探索的操作、姿勢の保持・変換	⑤2つの物から隠した物を見つける。		②やりたいことを選ぶことができる。		④〇、×などの簡単な記号の意味が分かる。			
6	学習による行動変化、やり取りの予測・パターン化、音声や表情の模倣、注意の追従、物のやや複雑な操作、状況に合わせた自体的操作	④簡単な身振りを真似する。		①2つの物からお気に入りのものを選ぶ。		③ピンのふたを開けたり閉めたりする。			
4	他者への注意と反応、発声、注意の持続、物の単純な操作、自体的操作	③身近にあるものや人の名前を聞いて指さしたりする。		①遊びや歌が終わるとやめてという行動を示す。		②いれ物の中から興味あるものを取り出す。			
2	外界への注意の焦点化と探索、自発運動	②こっちこっちと物を示すとそれらを見る。		数量の基礎、数と計算		①動物の型抜きなどの形に関心を持つ。			
1	外界の刺激や活動への遭遇、反射的反応	①遊びや歌が終わるとやめてという行動を示す。		量と測定		図形			
スコア	段階、意義	①遊びや歌が終わるとやめてという行動を示す。		②具体的な指したり、つかんだりする。		⑩転がるボールを追視する。			
	児童生徒に備わる必要のある力	①遊びや歌が終わるとやめてという行動を示す。		①転がるボールを追視する。		⑨手を出して物をつかむ。			
	教科	①遊びや歌が終わるとやめてという行動を示す。		①転がるボールを追視する。		⑧提示されたものに手を伸ばす。			
		①遊びや歌が終わるとやめてという行動を示す。		①転がるボールを追視する。		⑦物を持たせると持つ。			
		①遊びや歌が終わるとやめてという行動を示す。		①転がるボールを追視する。		⑥人の声がする方に向く。			
		①遊びや歌が終わるとやめてという行動を示す。		①転がるボールを追視する。		⑤手に触れたものをつかむ。			
		①遊びや歌が終わるとやめてという行動を示す。		①転がるボールを追視する。		④音や動き、光に視線を向けたり注意を向けたりする。			
		①遊びや歌が終わるとやめてという行動を示す。		①転がるボールを追視する。		③音や動き、光の変化に気付き何らかの反応をする。			
		①遊びや歌が終わるとやめてという行動を示す。		①転がるボールを追視する。		②突然の音や光に緊張して身構える。			
		①遊びや歌が終わるとやめてという行動を示す。		①転がるボールを追視する。		①大きな音に反応する。			
		①遊びや歌が終わるとやめてという行動を示す。		①転がるボールを追視する。		学習内容			
		①遊びや歌が終わるとやめてという行動を示す。		①転がるボールを追視する。		外界の知覚認知			

資料7② 算数・数学の学習内容表（スコア18～60）

		算数・数学の学習内容表（スコア18～60）								
		本校のめざす児童生徒像	○心身ともに健康でたくましく生きる児童生徒	○心豊かで思いやりのある児童生徒	○夢や願いに向けて挑戦する児童生徒					
		身に付けてほしい力	人や物と関わる	生活リズムを整える	自分に合った姿勢や動作を身につける	情緒の安定を図る	興味や楽しみをもつ	人へ関わりを求める	自ら発信する	落ち着いた気持ちで環境に適応する
スコア	段階、意義	学習内容		学習内容		学習内容		学習内容		
60	予測や見通しをもって行動、役割を意識した協同遊び	①数の概念（10個まで） 言われた数の積み木を集めることができる。	②6個の積み木を半分に分けることができる。	③10以上を数える。	①長いと短いの意味が分かり、具体物でなくても、「長い方」などと言葉で言い表すことができる。	②高いと低いの意味が分かり、（具体物でなくても）、「高い方」などと言葉で言い表すことができる。	③「より大きい」が分かる。	①三角形を模写できる。	②ものの形の違いに気づいて見本どおりに並べたり、書いたりする。	③具体物を、簡単な形を使って表す。
48	物の特性の理解と目的をもった遊びや行動、決まりへの気づき	①数の概念（5まで）	②順序 三つのものの並び方を覚えて順に言うことができる。	③10までの数字を数える。	①長いものと短いものの具体物を見るときは一端をそろえて確認し、長い、短い、同じであることが分かる。	②感覚的に高い、低い、同じが分かる。	③形が同じものを選び、その大きさを比較することができる。	①紙を直線に切ったり折ったりできる。	②三角を合わせて長方形をつくる。	③「丸」「三角」「四角」などの言葉で図形が分かる。
36	身辺自立、質問の増加、自己主張・拒否の明確化、友達との関わり増加（平行遊び）	①数概念（3個） 3個とることができ、1個に2個加えて3個にすることができる。	②数概念（2個） 数個のチップから2個とることができ、2個の積み木を「いくつあるか」きくと答えることができる。「4個や5個の中から二つとって」に答えることができる。	③5までの数字を数える。	①感覚的に高い方、低い方を選ぶことができる。			①立体等の三次元のもので型はめなどを操作する。	②ものの形が分かる。（動物、果物、身近なもの）	③二つの絵を見比べて同じか違うかが分かる。
24	食事、着替えの部分的な身辺自立、言葉の増加、自己主張・拒否の芽生え、こっこ遊び、他児への興味	①1～3の数を具体物を用いて比較し、数の大小が分かる。	②指さして物を三つまで数え、その物を順番に指さす。	③物と対応させて、3までの数唱をする。	①具体物をさわって比較すると、「長い方」、「短い方」、「大きい方」、「小さい方」を選ぶことができる。	②平面の丸、三角、四角の絵で大小が分かる。	③広い狭いを体験的に気づき比較する。	①基本的な図形（円、正三角形、正方形）の色、形、大きさなどで分類する。	②基本的な図形（円、正三角形、正方形）の見本を見て同じ物を選ぶ。	③二つに切断した絵カードを組み合わせる。
18	言葉の意味の理解、意図の理解と共有、要求の明確化	④「三つのお皿にカップをひとつずつ」ができる。	⑤二色のものを同じ色どうし集めることができる。 赤と黄の具体物それぞれ10個ずつを分けることができる。	①りんご、みかん、バス、車を仲間同士で分けることができる。	④広い狭いを体験的に気づき比較する。	⑤多い少ないの違いに体験的に気づいたりする。	⑥大きい、小さいの違いに体験的に気づいたりする。	④同じ動物の絵をマッチングできる。	⑤まねて直線を引く。	①円、三角、四角の型はめをする。
スコア	段階、意義	学習内容		学習内容		学習内容		学習内容		
	児童生徒に備わる必要のある力	数量の基礎、数と計算		量と測定		図形				
		教科		算数・数学						

資料8 教育課程編成・年間計画作成に向けたアンケート

平成30年度 教育課程編成・年間計画作成に向けたアンケート結果

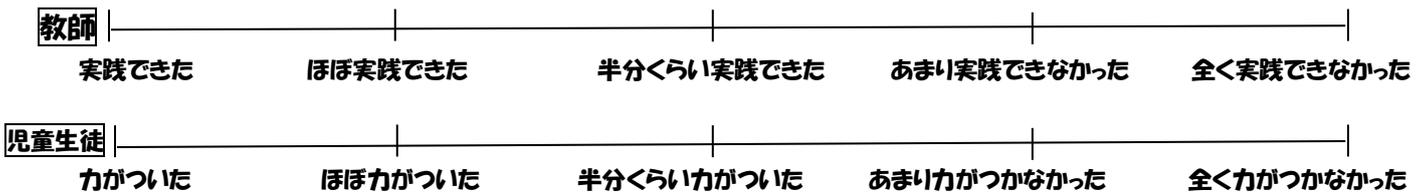
◎所属を教えてください。

小学部 中学部 高等部 訪問教育 みさかえ分教室

◎おもに指導に関わられている教育課程の類型を教えてください。（複数回答可）

I 課程 II 課程 III 課程 A 類型 III 課程 B 類型 III 課程 C 類型 IV 課程

平成29年度の本校教育課程編成の基本的な考え方として示している以下の8項目について、ご自身や指導を担当された児童生徒について、下の指標を参考に該当する目盛りに丸をつけてください。また、それぞれの項目について、具体例や次年度以降に向けたアイデアを四角枠内にお書きください。



以下、**1**～**8**についての回答の割合を〇〇%で示した。また、四角枠内には分析や今後の対応策を記載した。

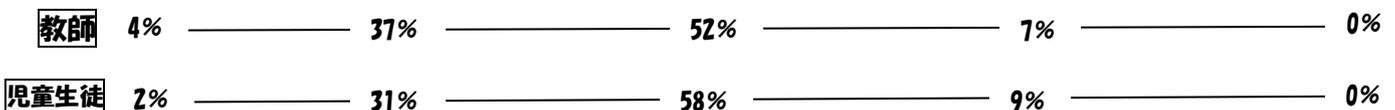
1 児童生徒の障害の状態に関わらず、学校教育として提供する教育内容について、各教科、自立活動、特別の教科道徳、特別活動、総合的な学習の時間、外国語活動の学びを成立させることを前提とした教育課程を編成する。



教師：本校では、ほぼ3以上。学校として、「教科も自立活動も大切にすること」が定着しつつある。ベッドサイド等の児童生徒についても定着できるよう、教育内容等を明らかにしていく。→継続。教育課程表の修正。

児童生徒：ほぼ3以上。学校として、実践と学習評価がほぼ一致している。→継続。

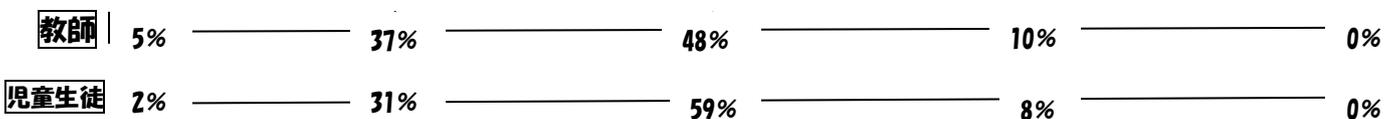
2 児童生徒の実態とともに学びの履歴を的確に把握し、卒業までに身につけてほしい力を踏まえて、授業づくりをする。



教師：半分くらいの実践の割合が高い。→継続。身に付けさせたい力と授業計画を結び付けていく取組の定着化。

児童生徒：半分くらいの割合が高い。→継続。「何ができるようになるのか」「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」を軸にして年間計画を作成する。

3 本人・家庭を中心として、医療・福祉・教育・労働の関係諸機関と連携しながら、卒業後の姿を想定し、小中高のつながりを密にして計画的・段階的な教育を実践する。



教師：昨年よりも2以下の割合が減った。→継続。部会の議題を共通にするなど、小中高のつながりが具体的に見えてくるように。卒業後の姿を想定した進路学習の在り方が明確になってきた。

児童生徒：部によって達成度の割合が変わっている。→継続。卒業後の姿を想定した進路学習の在り方が明確になってきた。

- 4 社会参加や地域での生活につながるよう、学校以外の場所や人との関わりを広げたり高めたりすることをねらいとした指導を行う。

教師 | 6% ————— 25% ————— 38% ————— 30% ————— 1%

児童生徒 2% ————— 24% ————— 43% ————— 30% ————— 1%

教師：他の項目に比べて2以下の割合が高い。→継続。「地域」「社会参加」を踏まえた教育活動を具体的に設定する。

児童生徒：他の項目に比べて2以下の割合が高い。→継続。学校外での活動に児童生徒に何を身に付けさせたいのかを明らかにした授業計画をする。

- 5 教科別の指導においては、教科の内容の相互の関連や系統性を明らかにして、児童生徒の習得度と障害特性に応じた指導を行う。

教師 4% ————— 43% ————— 46% ————— 7% ————— 0%

児童生徒 2% ————— 36% ————— 48% ————— 14% ————— 0%

教師：半分くらいの実践の割合が高い。全校研究の取組、Ⅲ課程（A・B・C類型の教科の指導内容、活用を視野に入れた教科書の選定などをさらに明らかにしていく。→「教科の内容の相互の関連や系統性を明らかにして」を修正する。

児童生徒：Ⅲ課程C類型の国語・算数（数学）は、全校研究で作成した学習内容表を活用することで、次に何を教えるかを考えやすくなった。→「教科の内容の相互の関連や系統性を明らかにして」を修正する必要はないか。内容として不十分なものがある。

- 6 各教科を合わせた指導においては、知的障害特別支援学校の各教科の内容から、児童生徒の実態や経験等に応じて具体的に指導する内容を設定し、単元や活動につなげていく。

教師 5% ————— 44% ————— 41% ————— 10% ————— 0%

児童生徒 2% ————— 33% ————— 54% ————— 11% ————— 0%

教師：指導する教科の内容に具体性をもたせて授業を組み立てることに取り組んでいる。どうしてもまず単元から考えてしまいがちになる。→継続。合わせて指導することの意義や説明が不十分なままに合せている現状があるのでは。

児童生徒：教師の実践に比べて力がついた割合が低くなっている。→継続。通知表において、指導形態ごとの評価ではなく、教育内容ごとの評価を行う。

- 7 自立活動の指導においては、チェックリストや課題整理表、学習内容一覧等を活用して、6区分26項目から児童生徒に必要なことを相互に関連付けた指導を展開する。

教師 8% ————— 60% ————— 26% ————— 6% ————— 0%

児童生徒 5% ————— 49% ————— 40% ————— 6% ————— 0%

教師：4以上の割合が高い。手続きに沿って中心課題の導き出しや目標設定ができている。→評価の在り方について、修正する必要はないか。

児童生徒：教師の実践に比べて4以上の割合が低い。→評価の在り方について、修正する必要はないか。

- 8 日々の学習の集大成として、行事や児童生徒会活動を計画的に設定し、学校や部、分教室の全体が一丸となって企画・運営に取り組む。

教師 | 4% ————— 38% ————— 49% ————— 9% ————— 0%

児童生徒 1% ————— 35% ————— 50% ————— 14% ————— 0%

教師：半分くらいの実践の割合が高い。→「分教室」については要修正。「日々の学習」との結び付けが弱い。

児童生徒：教師の実践よりもさらに3以下の割合が増えた。→「分教室」については要修正。

資料9 校内研究アンケート

今年度の校内研究を通し、各教師の授業に対する取り組みや意識の変容がどのようなものであったか把握するために、以下のような項目でアンケートを実施した。

平成29年度 校内研究について アンケート

今年度の校内研究で先生方が感じられていることをお聞かせいただき、来年度の校内研究へとつなげていきたいと考えています。ご協力のほど、よろしくお願いします。

◎所属を教えてください。

小学部 中学部 高等部 訪問教育

◎校内研究での所属グループを教えてください。

注意やりとり（国語） 注意やりとり（算数・数学） 役割習慣（国語） 役割習慣（算数・数学）

○校内研究で一人1事例を作成したことで、日頃の授業がどのように変わったか、教えてください。ご自身が該当される場所に○をつけ、それぞれの項目についてその理由を枠内にお書きください。

(1)今年度の校内研究のテーマを理解して、校内研究や日頃の授業に取り組むことができた。

「児童生徒の生きる力を育み、自立や社会参加を目指した肢体不自由教育における小・中・高12年間を見通した指導の在り方」～知的障害を併せ有する児童生徒への国語及び算数・数学の授業改善の取組～

できた 少しできた あまりできなかった できなかった

(2)教科と自立活動の指導の目標設定の違いを理解し、来年度はその違いを明確にした目標が設定できる。

できる 少しできる あまりできない できない

(3)国語及び算数・数学の一人1事例の作成について

①実態把握について、その方法や手順について理解し、実施することができた。

できた 少しできた あまりできなかった できなかった

②児童生徒の実態に応じた教科の目標設定ができた。

できた 少しできた あまりできなかった できなかった

③目標達成に向けた学習内容を選定することができた。

できた 少しできた あまりできなかった できなかった

④国語及び算数・数学の学習内容表について理解し、活用することができた。

できた 少しできた あまりできなかった できなかった

⑤適切な単元設定や授業を行うための題材の選定をすることができた。

できた 少しできた あまりできなかった できなかった

⑥児童生徒の実態に応じ、授業の中で適切な手立てを講じることができた。

できた 少しできた あまりできなかった できなかった

⑦目標に準拠した学習評価を行うことができた。

できた 少しできた あまりできなかった できなかった

(4)日々の授業づくりについて

①教科の授業づくりのプロセスを理解することで授業づくりが行いやすかった。

行いやすかった 少し行いやすかった あまり変わらなかった 変わらなかった

②授業が児童生徒の変容（段階やスコアの変化）につながった。

つながった 少しつながった あまりつながらなかった つながらなかった

③学習評価を授業改善につなげることができた。

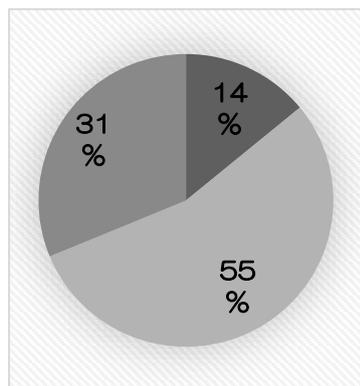
できた 少しできた あまりできなかった できなかった

(5)日々の指導やその評価を教育課程改善につなげることができた（予定を含む）。

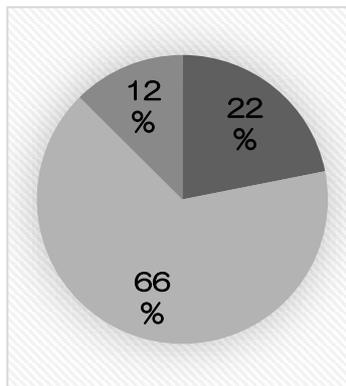
できた 少しできた あまりできなかった できなかった

アンケートを集約した結果と記述されたコメント（一部抜粋）は以下ようになった。

(1) 校内研究のテーマの理解

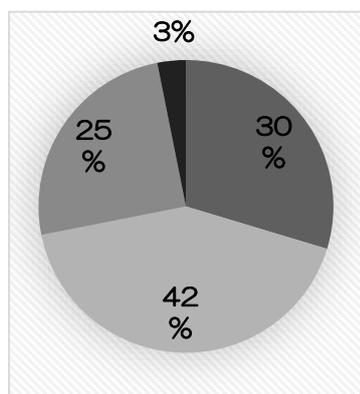


(2) 教科と自立活動の違いを理解した目標設定

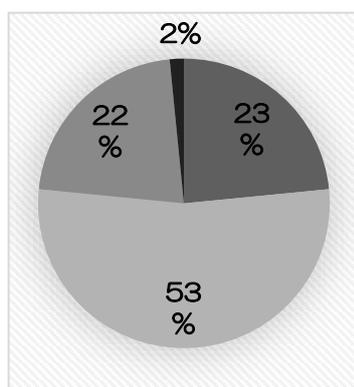


(3) 一人一事例研究を通して

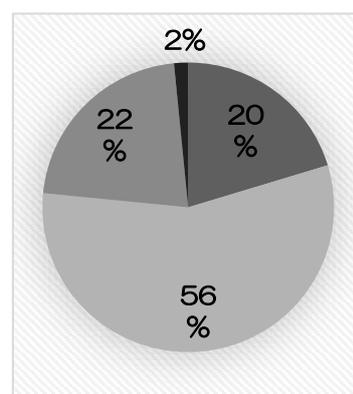
①実態把握についての理解



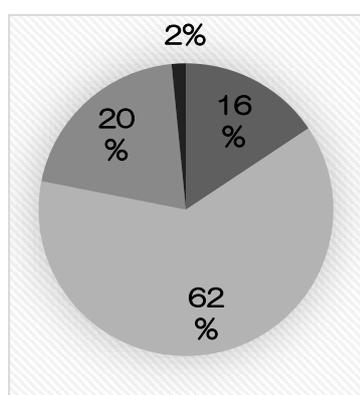
②目標設定について



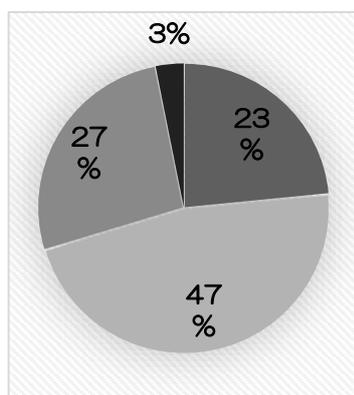
③学習内容の選定について



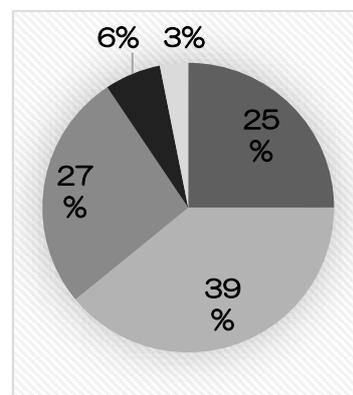
④学習内容表の理解、活用について



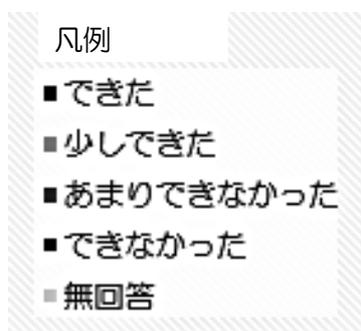
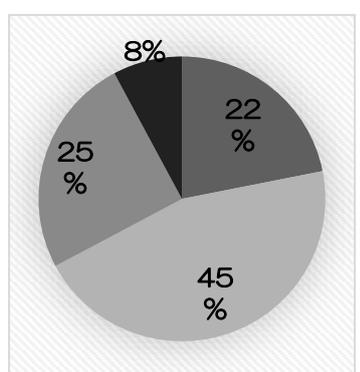
⑤題材選定について



⑥手立てについて

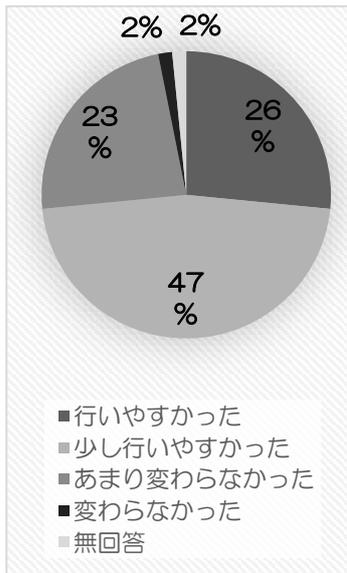


⑦学習評価について

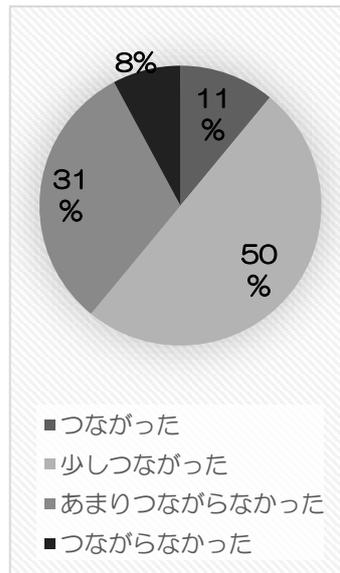


(4) 日々の授業づくりについて

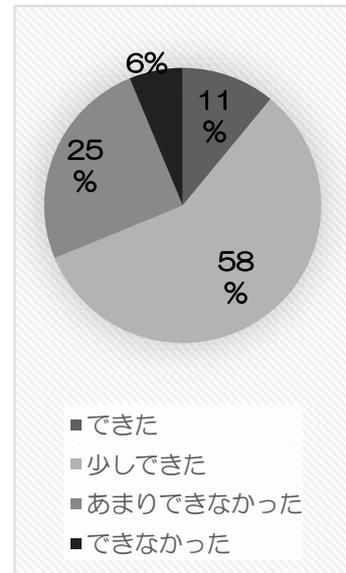
①授業づくりのプロセスについて



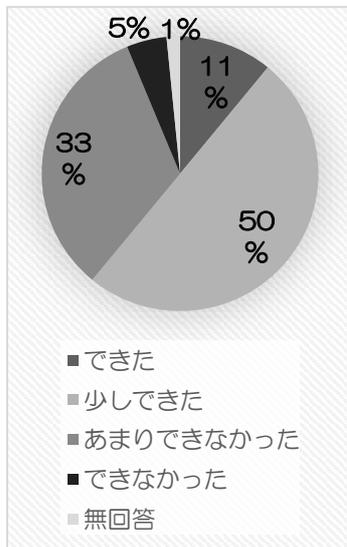
②児童生徒の変容について



③学習評価と授業改善のつながりについて



(5) 教育課程改善について



おわりに

長崎県立諫早特別支援学校副校長 上野 敬

昨年4月に赴任しましたが、特別支援教育に関しては全く初めてで、何もかもが新鮮で日々新たな情報を吸収していく生活が始まりました。そんな中最初の校内研究会にも出席しましたが、正直経緯も内容も十分理解できたとは言えない状態でした。また、教育課程委員会にも出席しましたが、その時はなぜこんな早い時期から教育課程についての検討が始まるのかと軽い違和感を覚えたものでした。

この感慨はその後の学校生活の中で感得した、これまで携わってきた普通高校と特別支援学校の教育との本質的な差につながるものでした。これまでの教育課程編成は、学年総単位数をどの教科に何単位振り分けるか、教科内での科目選択や履修順序などをどうするかによってコース特性を出して大学入試に対応できるカリキュラムを用意するという、ある意味で教科科目による単位数の奪い合いとも言えるものでした。そこには、「検定済みの教科書で教える」ことを前提としたもので、指導内容全体そのものを検討するという要素はあまりありませんでした。

本校の児童生徒は発達状態も困難さも一人一人別々で、統一した教材や指導法で授業を形成することは完全にはできません。「子どもの成長のために、豊かな将来につなげるために」という教育の目的は変わらないのですが、その手段は大きく異なっています。それは恐れずに言えば相対の世界と絶対の世界とでも言えるほどの差だと感じました。本校の先生方は「何（教育内容）を教えるか、何（教材）で教えるか」という根本から組み立てていかねばなりません。また、評価も数値による部分もありますが、多くは記述によるという点も私には衝撃的なものでした。一人一人の特性に応じて個別の指導計画に基づき教育を行っていくことの大変さを身にしみて感じた一年間でもありました。現在本校に勤務している教職員だけでなく、これまで本校の教育に携わってこられた先輩諸賢の情熱と営為を校内随所で感じる度に、自らの襟を正して日々の勤めに向かわねばという気持ちで過ごしてきた一年間でもありました。

さて、平成29年度の校内研究は、「児童生徒の生きる力を育み、自立や社会参加を目指した肢体不自由教育における小・中・高12年間を見通した指導の在り方」～知的障害を併せ有する児童生徒への国語及び算数・数学の授業改善の取組～というテーマで進められてきました。また、新学習指導要領に対応した教育課程編成の手続きについても取組が進められ、今後10年間の本校の教育の方向性を明らかにし、それを踏まえた上で平成30年度の「長崎県立諫早特別支援学校 教育課程編成基本方針」を定め、次年度は具体的な手続きを進めていく予定です。

今後もより児童生徒の実態やニーズに合った教育活動を進めるために、これらの研究・実践が明日への1歩につながるよう努力していきたいと思っております。この報告書をご覧いただいた方に、本校教育の充実に向けて忌憚のないご意見やご助言をいただければ幸いです。

最後になりましたが、本研究報告書を作成するにあたり、福岡教育大学教授の一木 薫先生には継続したご指導を賜るとともに、巻頭言をご執筆いただき心よりお礼申し上げます。

平成29年度 長崎県立諫早特別支援学校 研究報告書

発行者 長崎県立諫早特別支援学校

校長 前田 博志

長崎県諫早市真崎町 1670-1

TEL 0957-26-1085

<http://www2.news.ed.jp/section/isahaya-ss/index.html>

発行日 平成30年3月